

4K トラッキング PTZ カメラ

PTC-285



取扱説明書

datavideo
JAPAN

www.datavideo.jp

目次

内容物.....	4
概要.....	4
特長.....	4
各パーツの機能と配置.....	5
セットアップ.....	9
電源投入時の初期化.....	9
ビデオ出力.....	9
リモコンとオンスクリーンメニュー.....	12
リモコン機能.....	12
OSD メニュー.....	15
OSD メニューの専門用語解説.....	31
取付方法.....	32
ネットワーク接続.....	37
DHCP モード.....	39
静的 IP.....	40
DVIP.....	41
PTC-285 の AI 自動トラッキングの使用方法.....	44
Web User Interface.....	50
Live.....	50
Video.....	51
Image.....	57
Audio.....	58
System.....	60
Network.....	62
Information.....	70

Web UI の PTZ コントロールエリア	71
Web UI を使ったプリセットの設定と呼び出し方法.....	74
PTZ View Assist アプリでカメラを操作する	75
DIP スイッチの設定.....	76
DIP スイッチ SW1	76
DIP スイッチ SW2 (IRID)	77
VLC Player による RTSP ストリームの再生方法.....	78
VCL Player によるマルチキャストの再生方法.....	80
Facebook への配信方法	81
Youtube への配信方法.....	92
vMix ソフトウェアで SRT ストリーミングを行う方法.....	96
リモートコントロールポートのピンアウト	109
ファームウェアのアップデート	111
PTC-285 ファームウェアアップデートツールによるファームウェアのアップ デート	111
USB フラッシュドライブによるファームウェアのアップデート	115
よくあるご質問	118
外形寸法図	120
仕様.....	121
サポート窓口	124

内容物

製品には下記の部品が含まれます。いずれかの部品が同梱されていない場合は、取扱店まですぐにご連絡下さい。

番号	品名	数量
1	PTC-285 本体	1
2	AC/DC 変換アダプタ (DC12V / 2.0A)	1
3	リモコン	1
4	天井用 ブラケット-A	1
5	天井用 ブラケット-B	1
6	天井用 取付ねじ (M3×4mm)	6
7	リテーニングワイヤー	1
8	取扱説明書 (本書)	1

概要

PTC-285 シリーズは、1/2.8 インチの大型 CMOS センサーを搭載し、高品質の 2160p50/60 UHD 映像の出力、12 倍の光学ズーム、16 倍のデジタルズームを備え、3G-SDI、HDMI、IP ストリーム、NDI (オプション : PTC-285 NDI) などの多彩な出力に対応することが可能です。

PTC-285 シリーズは、遠隔カメラをさらに高レベルなものへと引き上げてくれる理想的なカメラです。

特長

- 2160p 50/59.94/60 PTZ カメラ
- 12 倍オプティカルズーム、16 倍デジタルズーム
- 4K ビデオインターフェース。HDMI、IP (H.264 & H.265)
- 2160p および 1080p (3G-SDI) 同時ビデオ出力
- RS-422 シリアルポートコントロール
- 外部オーディオ入力。3.5mm オーディオ入力/ライン入力 (ウェブ UI で切り替え可能)
- 親しみやすい Web UI
- ホワイトカラーモデルあり

各パーツの機能と配置

カメラ前面



レンズ

- 1 ホワイトバランス調整、逆光補正、オートゲインなどの機能を備えた 1/2.8" 851 万画素 CMOS 4K カラーカメラ内蔵。

タリーLED

- 2 ON 信号を受信すると、Tally ランプが点灯します。

リモコン用センサー

- 3 リモコン IR レシーバー

カメラ背面



USB ポート

1 ファームウェアのアップデートに使用する USB ポートです。ユーザーは最新バージョンのファームウェアを USB フラッシュドライブに保存し、それをこのインターフェイスに挿入してファームウェアを更新することができます。

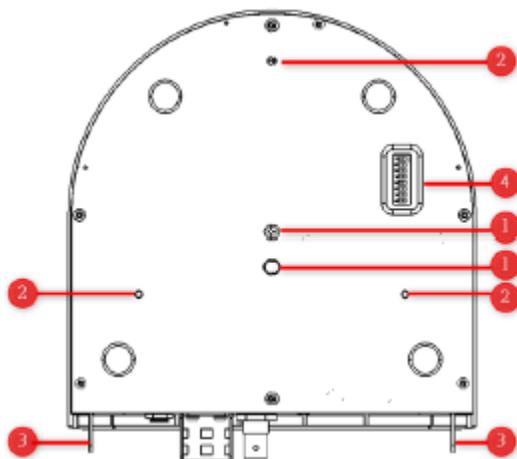
注意：USB フラッシュドライブを挿入した後、PTC-285 カメラの OSD メニューから SETUP->USB UPGRADE を "ON" にすることを忘れないようにしてください。

電源入力

2 DC インソケットは、付属の 12V 電源に接続します。DC インプラグの外側の固定リングをソケットにねじ込むことで、接続を固定することができます。

3	<p>4K HDMI OUT</p> <p>HDMI ケーブルで外部 HDMI モニターを接続することができます。</p>
4	<p>3G-SDI OUT</p> <p>SDI ケーブルで外部モニターを接続することができます。</p>
5	<p>MIC IN/LINE IN</p> <p>3.5mm オーディオ入力、外部音声を受信します。</p>
6	<p>RS-422 インターフェース (RJ-45)</p> <p>外部の RS-422 機器を接続するためのものです。外部 RS-422 コントローラを接続する場合は、Ethernet ケーブルを使用します。RS-422 インターフェースのケーブルは、「リモートコントロールポートのピンアウト」を参照して作成してください。</p>
7	<p>IRID インターフェース</p> <p>DVIP スイッチを使用して、リモートコントローラでカメラの番号を制御することができます。ユーザーはこのインターフェースを使って、リモコンでカメラを制御するために、カメラを 1 番から 4 番までの任意の番号に設定することができます。</p>
8	<p>DVIP/POE インターフェース</p> <p>Datavideo が開発した DVIP プロトコルを使用して、Datavideo のカメラコントローラで PTC-285 カメラを制御することができますようにします。さらに、このインターフェースは PoE (Power over Ethernet) 技術に対応します。</p>

カメラ底面



1	三脚ネジ穴 三脚にカメラを取り付けることができます。
2	ネジ穴 天吊り金具取り付け用のネジ穴。
3	安全ロープ用 カメラを天井に固定するための安全ロープを結びます。
4	ディップスイッチ VISCA ID、解像度、リモートコントロールプロトコル、ビデオモードなど、必要なパラメータを調整するためのディップスイッチです。

セットアップ

電源投入時の初期化

下図のように、電源コードを差し込むと、前面のタリーランプが赤く点滅を始め、電源投入時の初期化が完了すると同時に消灯します。カメラヘッドはレンズが正面を向いた HOME の位置にあるはずですが、電源を入れると、カメラレンズは前回 OFF にした位置に戻ります。



DC 12V電源を接続する

ビデオ出力

DVIP/POE ポート、4K HDMI OUT、3G-SDI OUT からカメラ映像を確認することができます。

DVIP/POE ポート



Web UI (=ウェブ ユーザーインターフェイス*1) からカメラのビデオを表示するには、次の手順に従ってください。

●PTC-285 カメラをパソコンに直接接続

1. PTC-285 をパソコンにイーサネットケーブルで接続します。
2. 接続されたパソコンで Web UI を開き、Web ブラウザのアドレスバーにデフォルトの IP アドレスを入力してください。

注: PTC-285 のデフォルトの静的 IP アドレスは 192.168.100.88 です。

3. Web UI のログインページが開きます。ユーザー名とパスワードを入力してください (デフォルトのユーザー名とパスワードは admin/admin です)。
4. カメラで撮影したビデオをプレビューするためのプレビューウィンドウを開きます。

●PTC-285 カメラをルーターでパソコンに接続

1. パソコンのイーサネット IP アドレスを 192.168.100.x (x は 0-255 を意味します) に設定してください。これは、PTC-285 と同じローカルエリアネットワークになります。
2. RJ-45 イーサネット ケーブルを使用して、PTC-285 の背面パネルにある DVIP ポートからルーターの LAN ポートに接続してください。次に、別の RJ-45 イーサネットケーブルを使用して、パソコンの RJ-45 イーサネットポートから同じルーターの LAN ポートに接続してください。
3. 接続されたパソコンから Web UI を開き、カメラのデフォルト IP アドレスを Web ブラウザのアドレスバーに入力してください。

注: PTC-285 のデフォルトの静的 IP アドレスは 192.168.100.88 です。

4. Web UI のログインページが開きます。ユーザー名とパスワードを入力してください (デフォルトのユーザー名とパスワードは admin/admin です)。
5. ビデオが表示されるプレビューウィンドウをクリックします。

*1 : 詳しくは、p.37「ネットワーク接続」をご参照ください。

HDMI ビデオ OUT

4K HDMI OUT を HDMI ケーブルで外部接続モニターに接続します。



3G-SDI ビデオ出力

SDI OUT を SDI ケーブルで外部接続モニターに接続します。



リモコンとオンスクリーンメニュー

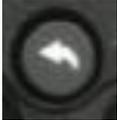
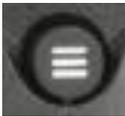
リモコン機能と OSD メニューの概要を説明します。

リモコン機能



番号	ファンクションキー	内容
1	<p>電源ボタン</p> 	<p>1 回押すとスタンバイモード、もう 1 回押すとノーマルモードになります。</p> <p>注：スタンバイモード時の消費電力は、ノーマルモード時の消費電力の約半分となります。</p>
2	<p>カメラ 1~4</p> 	<p>カメラ 1~カメラ 4 ボタンで、PTC-285 のカメラを No.1 ~No.4 で設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラ 1、カメラ 2、カメラ 3、カメラ 4 を選択するには、ボタン 1~ボタン 4 を短押ししてください。 カメラ 1~カメラ 4 ボタンのいずれかを長押ししてください。その後、これら 4 つのボタンが点灯しますので、この時に 4 つのボタンのいずれかを短押しして、カメラ番号の設定を終了してください。
3	<p>プリセット 1~4 ボタン</p> 	<p>プリセットボタン 1、2、3、4 で、カメラのプリセット設定を最大 4 つまで設定することができます。</p> <p>プリセットの設定方法：あらかじめ、ご希望のカメラパラメータとカメラレンズの位置を調整しておいてください。その後、リモコンにある "STR "ボタンを押してください。その後、プリセット番号ボタン（プリセット 1~4）を押し、プリセットとして設定してください。</p> <p>プリセットの呼び出し方：プリセット 1~4 までのプリセット番号ボタンを直接押すと、保存したプリセットが正常に呼び出されます。</p>
4	<p>Focus Far/Focus Near</p> 	<p>[Focus Far]または[Focus Near]ボタンを押して、PTC-285 カメラを[Manual]モードに移行してください。</p> <p>Focus Far 機能で遠くにピントを合わせることができます。Focus Near 機能は、近距離にピントを合わせることができます。</p>

番号	ファンクションキー	内容
5	Zoom Tele/Zoom Wide Button 	被写体のズームアウトとズームインができるボタンです。[Zoom Tele]で被写体を拡大し、[Zoom Wide]で被写体を縮小することができます。
6	Micro Joystick 	マイクロジョイスティック 上/下/左/右/確認 マイクロジョイスティックを上下左右に動かして、カメラレンズを上下左右に動かしてください。OSDメニューがONの時、マイクロジョイスティックを上側または下側に動かして、異なるオプションを選択してください。マイクロジョイスティックを左側または右側に動かし、異なる設定値を選択してください。その後、"マイクロジョイスティック"を押して、選択した値を確定してください。
7	リセット IP ボタン 	PTC-285 の IP アドレスを初期値「192.168.100.88」に戻すには、このボタンを押してください。
8	STR ボタン 	プリセットの設定 <ul style="list-style-type: none"> 希望の設定値とカメラのレンズ位置が決まったら、[STR]ボタンを押し、[プリセット 1]~[プリセット 4]の中から希望のプリセット番号のボタンを押してください。その後、プリセットが正常に設定されます。

番号	ファンクションキー	内容
9	AF オートフォーカス/AI 自動トラッキングオン/オフボタン 	オートフォーカス機能をオンにするには、このボタンを押してください。このボタンを2秒間長押しすると、AI自動トラッキング機能がON/OFFになります。
10	戻るボタン 	[Back]ボタンを押すと、カメラのヘッドが[Home]位置に戻ります。OSDメニューが開かれたとき、[Back]ボタンを押すとOSDメニューの前のレイヤーに戻ることができます。
11	メニューボタン 	外部モニターに PTC-285 カメラの OSD メニューを表示するには、[Menu]ボタンを押してください。

OSD メニュー

オンスクリーンメニューは、カメラの様々な設定を変更することができます。リモコンの[MENU]を押すと、以下のようなオンスクリーンメニューが表示されます。

OSD Menu
Exposure
Color
Image
P/T/Z
Noise Reduction
Setup
Communication Setup
Information
Restore Default
【Home】 Enter
【Menu】 Exit

メインオプションとそのサブオプションの概要

メインオプション				
Exposure	Color	Image	P/T/Z	Noise Reduction
Mode	WB Mode	Luminance	SpeedByZoom	NR3D-Level
ExpComp Mode	RG	Contrast	AF-Zone	
Backlight	BG	Sharpness	AF-Sense	
Gain Limit	Saturation	Flip-H	L/R Set	
Anti-Flicker	Hue	Flip-V	Display Info	
Meter		B&W-Mode	Image Freeze	
DRC		Style	Digital Zoom	
			Pre Speed	
			Pre Zoom Speed	

メインオプション			
Setup	Communication Setup	Information	Restore Default
Language	Protocol	ARM	Restore? Yes/No
HDMI RGB Mode	V_Address	SOC	
Video Format	V_AddrFix	Date	
Audio Select	Net Mode	AF	
SDI-3G Mode	Baudrate	Format	
USB UPGRADE		Model	
VISCA ID		IP	
Audio Channel		GateWay	
		NetMask	
		CTRL SRC	

オンスクリーンメニューのオプションの詳細

メインメニュー	サブメニュー	オプション	オプション-2
Exposure	Mode	Auto	
		Manual	
		SAE	
		AAE	
		Bright	
	ExpCompMode	Off	ExpComp -7~+7
		On	
	Backlight	Off	
		On	
	Gain Limit	0	
		1	
		2	
		3	
		4	
		5	
		6	
		7	
		8	
		9	
		10	
		11	
		12	
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			

	20
	21
	22
Anti-Flicker	Off
	50Hz
	60Hz
Meter	Average
	Center
	Smart
	Top
DRC	0
	1
	2
	3
	4
	5
	6
	7
	8
Iris	F1.8
	F2.0
	F2.4
	F2.8
	F3.4
	F4.0
	F4.8
	F5.6
	F6.8
	F8.0
	F9.6
	F11.0
	Close

Shutter	1/30
	1/60
	1/90
	1/100
	1/125
	1/180
	1/250
	1/350
	1/500
	1/725
	1/1000
	1/1500
	1/2000
	1/3000
	1/4000
	1/6000
1/10000	
Gain	0
	1
	2
	3
	4
	5
	6
	7
	8
	9
	10
	11
	12
	13
14	

		15
		16
		17
		18
		19
		20
		21
		22
	Bright	0
		1
		2
		3
		4
		5
		6
		7
		8
		9
		10
		11
		12
		13
		14
		15
		16
	17	
Color	WB Mode	Auto
		Indoor
		Outdoor
		OnePush
		Manual
		VAR

RG Tuning

0
+1
+2
+3
+4
+5
+6
+7
+8
+9
+10
-10
-9
-8
-7
-6
-5
-4
-3
-2
-1

BG Tuning

0
+1
+2
+3
+4
+5
+6
+7
+8
+9
+10

	-10
	-9
	-8
	-7
	-6
	-5
	-4
	-3
	-2
	-1
Saturation	60%
	70%
	80%
	90%
	100%
	110%
	120%
	130%
	140%
	150%
	160%
	170%
	180%
190%	
200%	
Hue	0
	1
	2
	3
	4
	5
	6

	7
	8
	9
	10
	11
	12
	13
	14
RG	0~255
BG	0~255
Color Temp	2500K
	2600K
	2700K
	2800K
	2900K
	3000K
	3100K
	3200K
	3300K
	3400K
	3500K
	3600K
	3700K
	3800K
	3900K
	4000K
	4100K
	4200K
4300K	
4400K	
4500K	
4600K	

4700K
4800K
4900K
5000K
5100K
5200K
5300K
5400K
5500K
5600K
5700K
5800K
5900K
6000K
6100K
6200K
6300K
6400K
6500K
6600K
6700K
6800K
6900K
7000K
7100K
7200K
7300K
7400K
7500K
7600K
7700K
7800K

		7900K
		8000K
Image	Luminance	0
		1
		2
		3
		4
		5
		6
		7
		8
		9
		10
		11
		12
		13
	14	
	Contrast	0
		1
		2
		3
		4
		5
		6
		7
		8
		9
		10
		11
		12
13		
14		

	Sharpness	Auto	
		0	
		1	
		2	
		3	
		4	
		5	
		6	
		7	
		8	
		9	
		10	
		11	
		12	
		13	
	14		
	15		
		Flip-H	Off
			On
		Flip-V	Off
On			
	B&W-Mode	Off	
		On	
	Style	Default	
		Norm	
		Bright	
		PC	
P/T/Z	SpeedByZoom	Off	
		On	
	AF-Zone	Front	
		Top	
		Center	

	Bottom
AF-Sense	High
	Low
	Normal
L/R Set	STD
	REV
Display Info	Off
	On
Image Freeze	On
	Off
Digital Zoom	Off
	2 倍
	4 倍
	8 倍
	16 倍
Pre Speed	1
	2
	3
	4
	5
	6
	7
	8
	9
	10
	11
	12
	13
	14
	15
	16
	17

		18
		19
		20
		21
		22
		23
		24
	Pre Zoom Speed	0
		1
		2
		3
		4
		5
		6
		7
Noise Reduction	NR3D-Level	Auto
		Off
		1
		2
		3
		4
		5
		6
		7
		8
Setup	Language	中国語繁体字
		英語
		中国語簡体字
		ロシア語
	HDMI RGB Mode	HDMI
		DVI
	Video Format	1080P25

		720P50
		1080P60
		1080P50
		1080I60
		1080I50
		1080P30
		720P60
		1080P29.97
		1080I59.94
		1080P59.94
		720P59.94
		4KP29.97
		4KP59.94
		4KP25
		4KP30
		4KP50
		4KP60
	Audio Select	MIC
		LINE IN
	SDI-3G Mode	LEVEL-A
		LEVEL-B
	USB UPGRADE	Off
		On
	VISCA ID	By DIP
		By OSD
	Audio Channel	Stereo
		Mono
Communication Setup	Protocol	VISCA
		PELCO-D
		PELCO-P
		Auto
	V_Address	1

	V_AddrFix	Off	
		On	
	Net Mode	Serial	
		Paral	
	Baudrate	38400	
		2400	
		4800	
		9600	
	Information	ARM	
		SOC	
Date			
AF			
Format			
Model			
IP			
GateWay			
NetMask			
CTRL SRC			
Restore Default	Restore ?		

注 :OSDメニューの[Audio Channel]オプションで、[mono]を選択した場合、左オーディオチャンネルのデータは右オーディオチャンネルにコピーされ、一緒に出力されます。オーディオソースが[mono]の場合、左オーディオチャンネルのみ音声が出力されます。

OSDメニューの専門用語解説

PTC-285カメラのOSDメニューには専門的な用語や名詞で表示されることがあります。

- **ズーム速度**：この機能を[ON]にすると、ズームイン/ズームアウトの開始時、ズームイン/ズームアウトの限界に近づいたとき、またはユーザーがズームイン/ズームアウトを停止したいときに、カメラレンズのズームイン/ズームアウト速度は直線的に減少します。この機能を[OFF]にすると、ズームイン/ズームアウトの速度は、カメラのズームインの開始/停止に関係なく一定になります。
- **Flip H**：「水平方向の反転」です。[ON]を選択すると、カメラで撮影した画面が水平方向に反転します。[OFF]を選択すると、通常の方法で表示されます。
- **Flip V**：「垂直方向の反転」です。[ON]を選択すると、カメラで撮影した画面が垂直方向に反転します。[OFF]を選択すると、通常の方法で表示されます。
- **L/R Set**：[REV]を選択すると、PTC-285カメラのレンズのパン方向が、リモコンで操作する方向と逆になります。[STD]を選択すると、リモコンで操作している方向と同じ方向にパンします。

取付方法

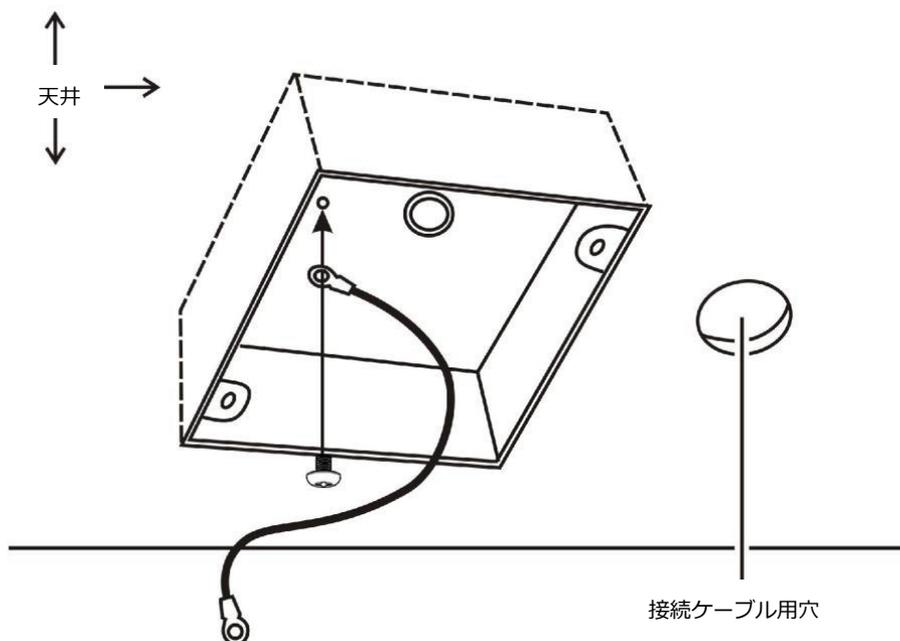
注：天井用ブラケットは、型枠またはコンクリート表面にのみ取り付けてください。石膏ボードには取り付けないでください。

ステップ1 - DIPスイッチの設定

ミラーオプションをH+Vモードに設定します。

ステップ2 - リテーニングワイヤーの一端

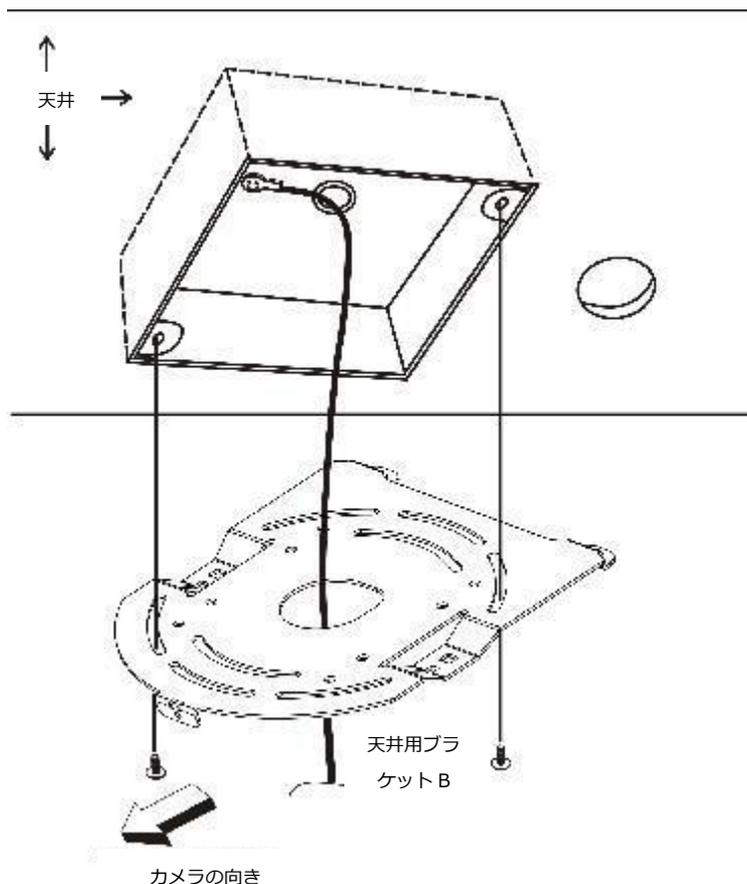
下図のように、ジャンクションボックスのネジ穴にリテーニングワイヤーの一端をネジ（別売）で取り付け、天井に取り付けたジャンクションボックスにリテーニングワイヤーを取り付けてください。



ステップ3 - 天井用ブラケット (B)

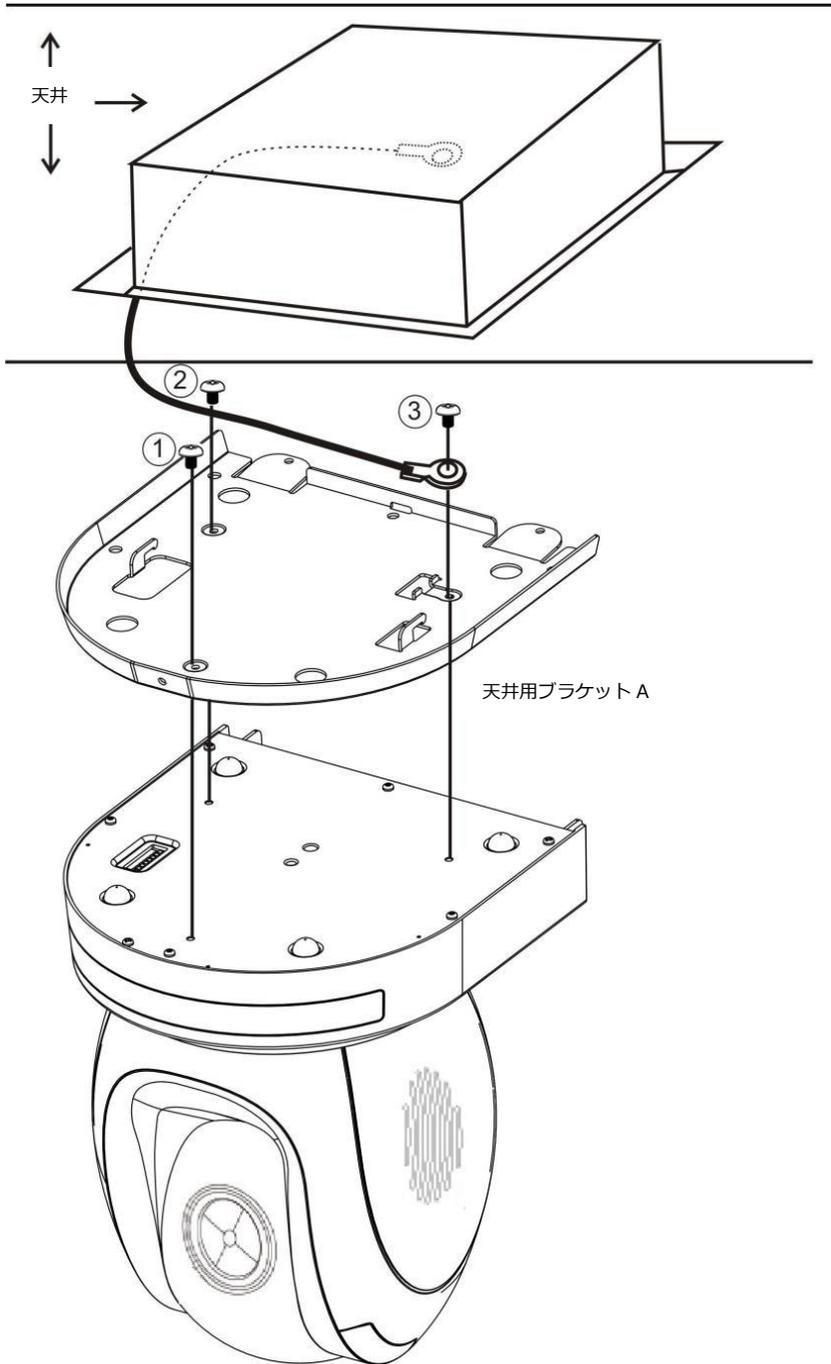
下図のように、天井に取り付けたジャンクションボックスに再度、天井ブラケット (B) をねじ込みます。

天井ブラケット (B) のネジ穴とジャンクションボックスの穴が合っていることを確認してください。

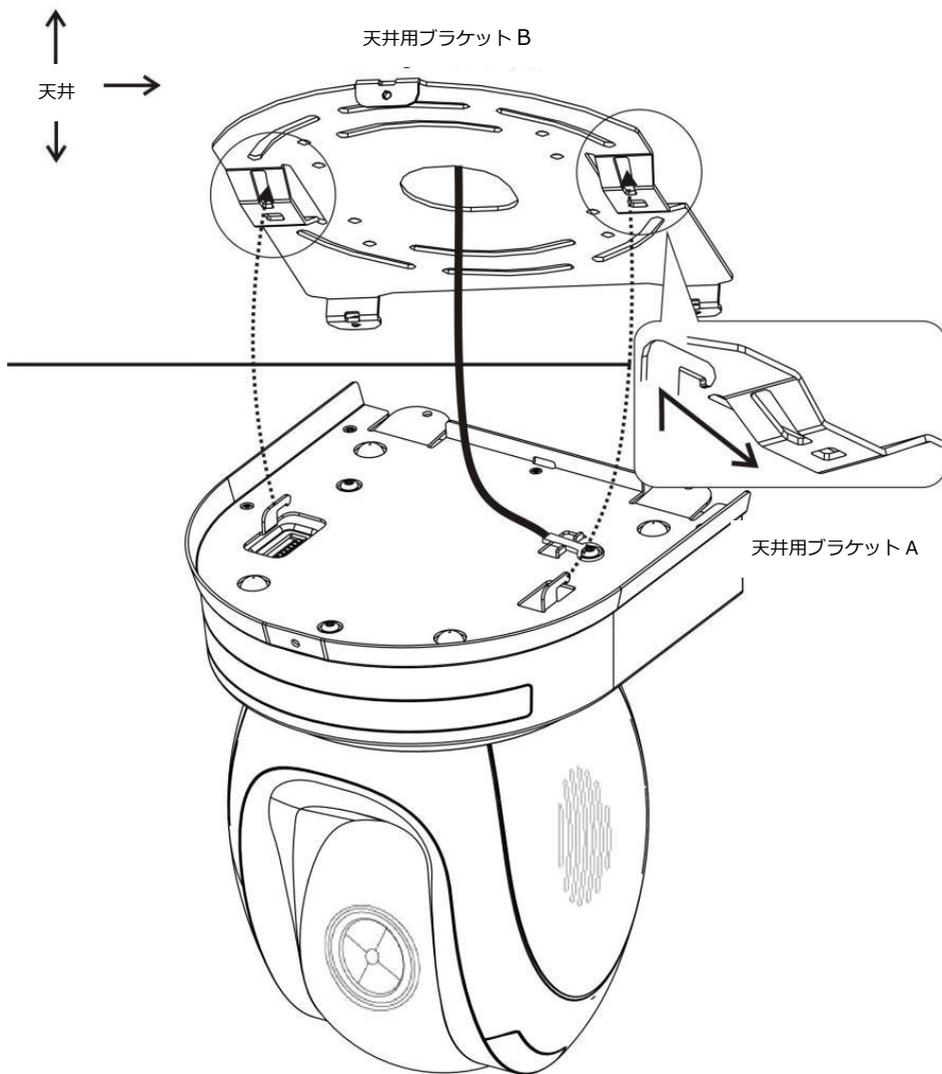


ステップ4 - 天井用ブラケット (A) とカメラ

- 天井ブラケット (A) を3本のネジでカメラの底にねじ込みます。
- ネジを次図のように配置します。
- カメラ底面のネジ穴を天井ブラケットのネジ穴と合わせます。
- ネジを番号順に対応するネジ穴に挿入します。
- リテーニングワイヤーのもう一方の端は、3番のネジ穴にねじ込みます。
- 3本のネジをすべてしっかりと締め付けます。

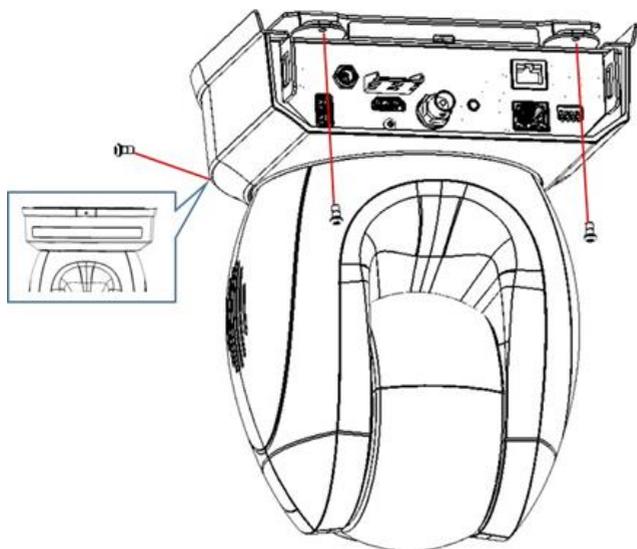


ステップ5 - カメラを天井に取り付ける



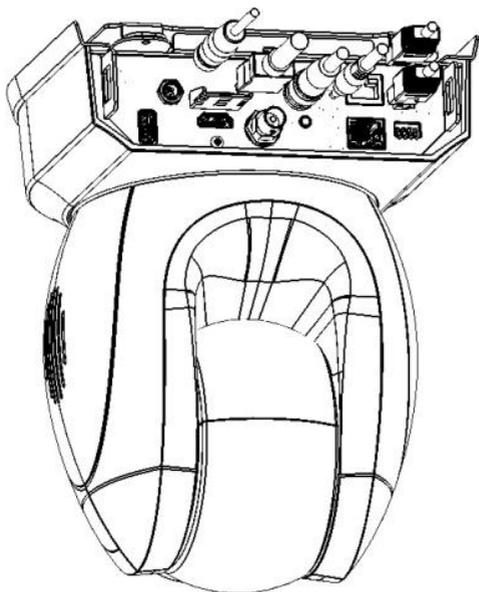
ステップ6 - カメラ固定用ネジ

下図のように、3本のネジを対応するネジ穴にねじ込んでカメラを固定します。



ステップ7 - ケーブル接続

各ケーブルをカメラ背面にあるコネクタに接続します。

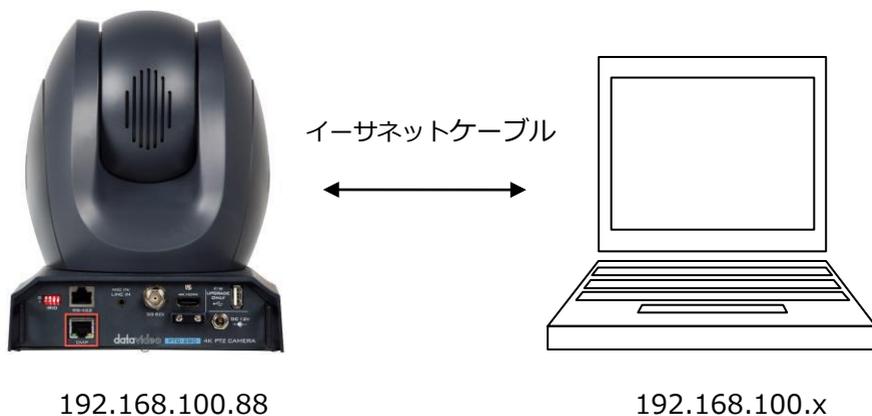


ネットワーク接続

PTC-285の背面パネルのイーサネットポートを使用すると、静的または動的IPアドレスを持つパソコンからカメラに接続できます。これらのネットワーク設定にアクセスして変更するには、カメラの Web インターフェースにログインする必要があります。

初めてデバイスを使用する際は、カメラのデフォルトIPアドレスが**192.168.100.88**であることに注意してください。

下の図に示すように、カメラとパソコンとの間に直接接続を設定します。パソコンにIPアドレス 192.168.100.X を手動で割り当てることを忘れないでください。



パソコンで、ウェブブラウザを開き、アドレスバーにカメラのデフォルトIPアドレス、192.168.100.88 を入力し、[Enter]キーを押してWebインターフェースのログインページに移動します。

datavideo

username

password

[简体中文](#) | [繁体中文](#) | [English](#)

初期のログイン情報は下記の通りです。

- User Name: admin
- Password: admin

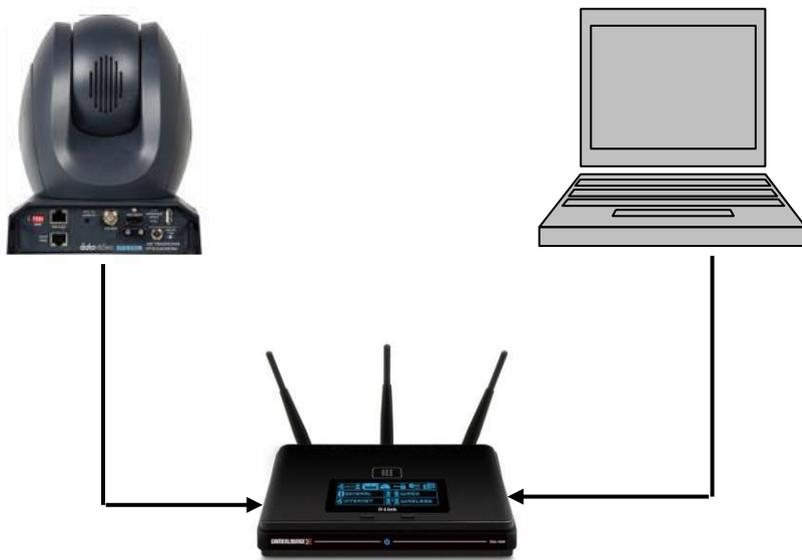
Webユーザーインターフェースに正常にログインした後、[Network]オプション→[Lan Settings]→[IP Configuration Type]の順に移動し、ドロップダウンメニューからカメラの接続タイプをDHCPまたは固定IPに変更してください。[Fixed IP Address]を選択すると、固定IPモードに設定されます。[Dynamic IP Address]を選択すると、DHCPモードに設定されます。設定が終了したら、設定を完了するために[Apply]ボタンをクリックしてください。



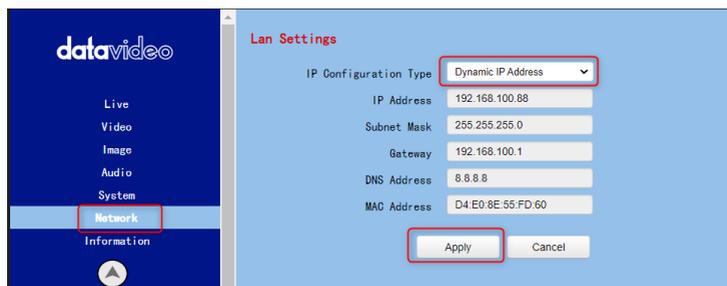
次の2つの章では、DHCPと静的IPモードを2つのセクションで有効にする方法を説明します。

DHCPモード

動的ホスト構成プロトコル (DHCP) は、特定のネットワークに対して構成された定義済みの番号範囲から、サーバーが自動的にIPアドレスをネットワークデバイスに割り当てるようにするネットワークプロトコルです。次の図は、DHCPネットワーク接続の例を示しています。



カメラのDHCPモードを有効にするには、ルーターによってPTC-285に動的IPアドレスを割り当てる[IP Configuration Type]ドロップダウンメニューから [Dynamic IP Address]を選択してください。[Apply]ボタンをクリックして設定を保存し、PTC-285を再起動してください。



静的 IP

静的IPアドレスは、PTC-285に手動で割り当てられる固定アドレスです。まず [IP Configuration Type] ドロップダウンメニューから [Fixed IP Address] を選択し、カメラのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイIPを入力してください。

注: 通常、これらのアドレスはネットワークプロトコル用に予約されているため、.0 または .255 で終わるアドレスを割り当てないでください。IPプールの先頭へのアドレスは、常にルーター用に予約されているため、こちらもお勧めできません。

静的IPアドレスを設定した後、[Apply] ボタンをクリックして設定を保存し、PTC-285を再起動してください。



DVIP

DVIPは、同じネットワーク上のDVIPデバイス検索用に設計された特別なネットワーク構成ソフトウェアツールで、ホスト名、DHCP モード、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイIP、プライマリおよびセカンダリDNSなどのデバイスネットワーク設定を構成します。

オペレーティング・システムに応じて、以下の各サイトからDVIP構成ツールをダウンロードします。

PC:

<https://www.microsoft.com/en-us/p/dvip-network-config/9p6gtz839k6s?activetab=pivot%3Aoverviewtab>

Android:

https://play.google.com/store/apps/details?id=com.datavideo.dvipnetconfig&hl=en_US

iOS:

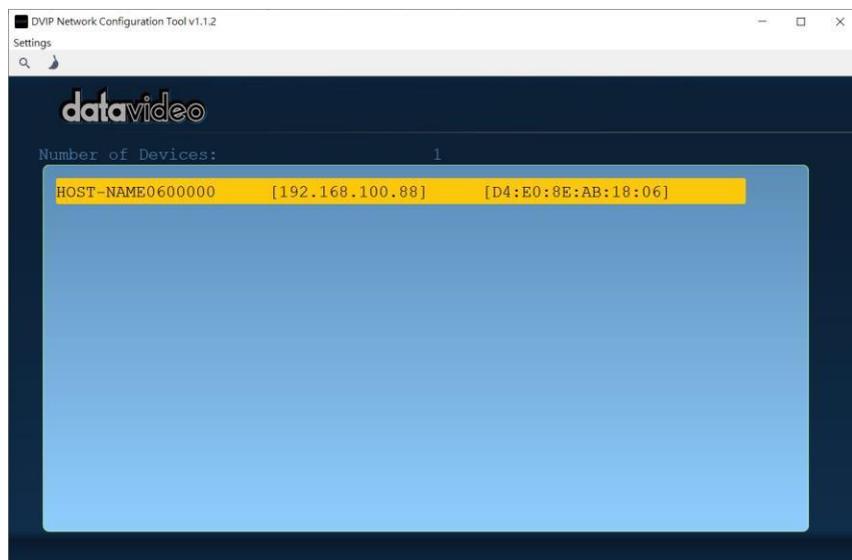
<https://itunes.apple.com/tw/app/dvip-network-config/id1177895983?mt=8>

DVIP ネットワーク構成ツールをインストールした後、以下の手順に従って、オンライン DVIP デバイスをスキャンし、対応する設定を構成します。

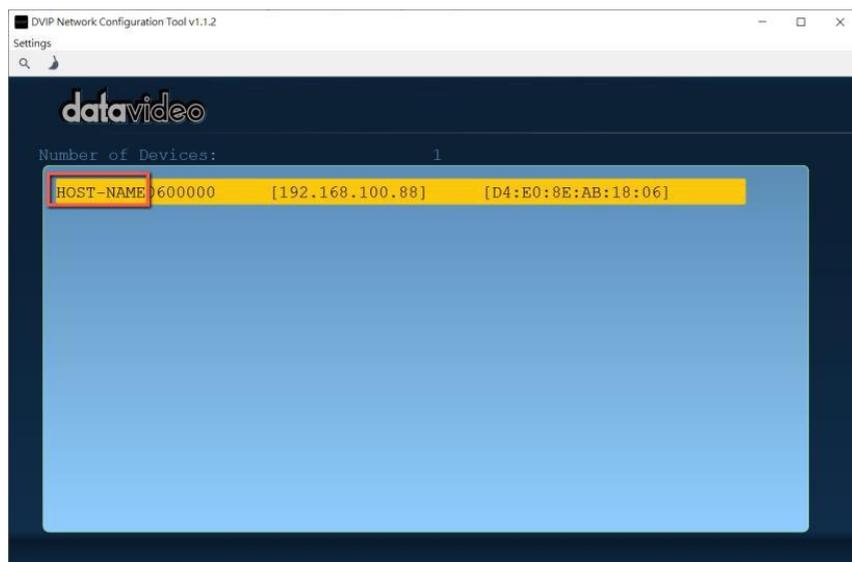
Step 1: DVIP ネットワーク構成ツールを開き、[Network interface]のポップアップウィンドウから接続されたイーサネットオプションを選択します。その後、[OK]ボタンを押してください



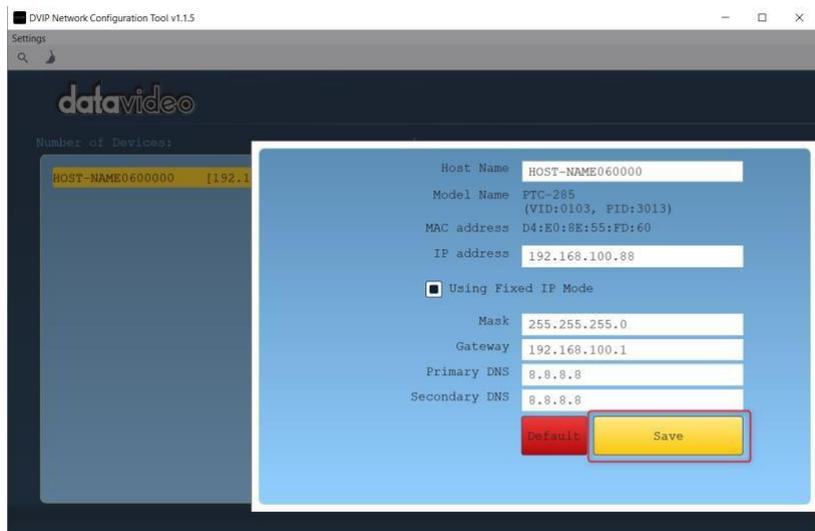
Step 2: ネットワークインターフェースを選択すると、DVIPネットワーク構成ツールのインターフェースが次の図のように表示されます。



Step 3: [HOST NAME]を押して、ネットワーク設定のポップアップウィンドウを表示します。



Step 4:[Host Name]列をクリックしてデバイス名を変更することができます。また、必要に応じて各設定列をクリックし値を変更することもできます。設定を変更した後は[Save]で保存してください。なお、[Default]でこれらの設定を工場出荷時のデフォルト値に戻すこともできます。



PTC-285のAI自動トラッキングの使用方法

Datavideo PTC-285は4KトラッキングPTZカメラで、AI自動トラッキング機能を1人または複数人のシーンで使用することができます。

PTC-285は、一人用と複数人用のトラッキングモードを含む2つのAI自動トラッキングモードを提供します。

PTC-285の自動トラッキング機能の操作については、以下の項目を参照してください。

AI自動トラッキング機能をオンにする方法

PTC-285の AI自動トラッキング機能をオンにするには、以下の手順に従います。

1. PTC-285 のリモコンを使って、AI 自動トラッキング機能をオンにします。リモコンの[AF/AI]ボタンを2秒以上長押ししてください。
2. この時、PTC-285のAI自動トラッキング機能がONになります。PTC-285に接続した外部モニタのOSDに[Begin Tracking]のリマインダーが表示されます。これは、AI自動トラッキング機能が正常にオンになったことを意味します。



AI自動トラッキング機能をオフにする方法

PTC-285の AI自動トラッキング機能をOFFにするには、以下の手順で行ってください。

1. PTC-285 のリモコンを使用して、AI 自動トラッキング機能をオンにしてください。リモコンの[AF/AI]ボタンを 2秒間長押ししてください。
2. この時、PTC-285のAI自動トラッキング機能はOFFになります。PTC-285 に接続された外部モニタのOSDに[Out of Track]というリマインダーが表示されます。これは、AI自動トラッキング機能が正常にOFFになったことを意味します。



一人シーン自動トラッキングモード

1人での撮影を想定する場合、PTC-285の[Single Person Scene Auto Tracking Mode]は以下の手順で使用してください。

1. リモコンの[AF/AI]ボタンを2秒以上押してください。外部接続モニターのOSDに[Begin Tracking]と表示された後、PTC-285の[Single Person Scene Auto Tracking Mode]が動作したことを意味します。



2. このとき、PTC-285はターゲットをロックし、直接追跡します。
3. トラッキングターゲットを見失った場合、PTC-285はトラッキングターゲットを見失った位置に数秒間留まり、その後最初の位置に戻ります。再び追跡対象が現れると、PTC-285は自動的に追跡を行います。

複数人シーン自動トラッキングモード

複数人での撮影を想定する場合、PTC-285の[Multi Person Scene Auto Tracking Mode]は以下の手順で使用してください。

1. リモコンの[AF/AI]ボタンを2秒間長押ししてください。外部接続モニターのOSDに[Begin Tracking]のリマインダーが表示された後、PTC-285の[Multi Person Scene Auto Tracking Mode]が起動したことを意味します。
2. 複数人シーンでトラッキングを行う場合、外部モニターに緑色の枠が表示され、希望するトラッキングターゲットを選択することができます。リモコンから[Micro Joystick]を使用して、希望するトラッキングターゲットを選択してください。トラッキングターゲットが選択された後、[Micro Joystick]を押してトラッキングを開始してください。



3. トラッキングが開始されると、下図に示すように緑の枠が消えます。



4. [Multi Person Scene Auto Tracking]モード中にトラッキングターゲットを変更したい場合、リモコンの[Micro Joystick]を直接使用して新しいトラッキングターゲットを選択してください。その後、緑のフレームが表示されますので、新しいトラッキングターゲットを選択し、リモコンから[Micro Joystick]を押してください。新しいターゲットを追跡し始めます。



5. ターゲットを見失った場合、PTC-285は見失った位置で数秒間停止し、その後最初の位置へ戻ります。トラッキングターゲットが再び現れると、PTC-285は自動的にターゲットを追尾します。

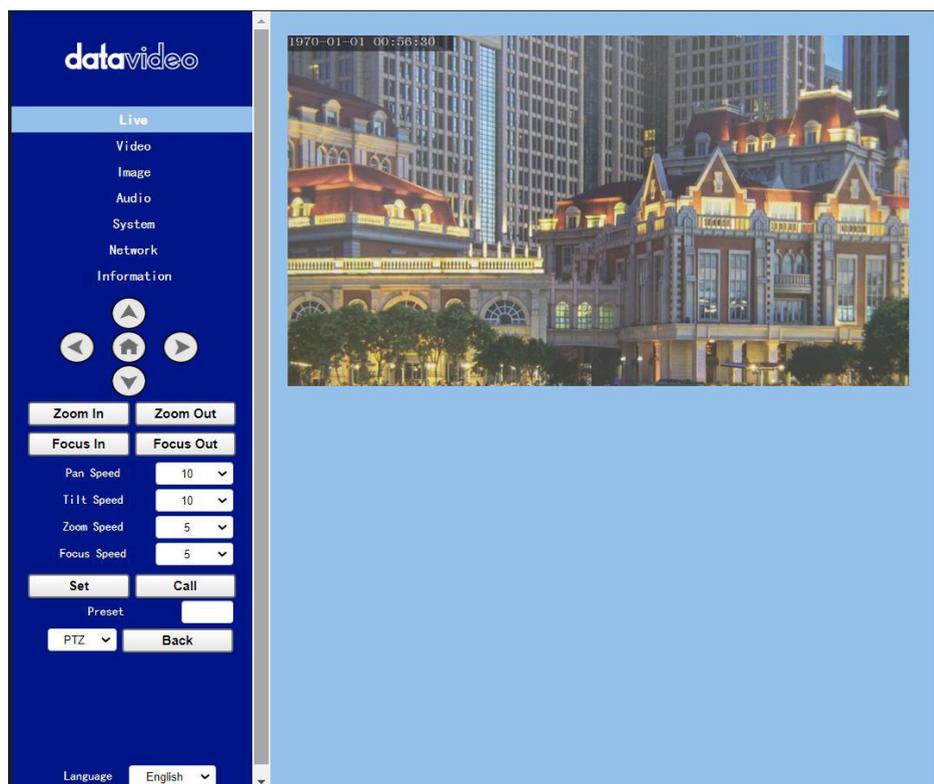
注：AI自動トラッキング機能をオンにした場合、PTC-285は他のコントローラからの制御コマンドを受信しませんが、これは正常の状態です。

Web User Interface

Web ベースのユーザー・インターフェースを使用すると、PTC-285デバイスを設定および制御できます。

Live

Live オプションは、PTC-285で撮影された画像をリアルタイムでプレビューすることができます。[Live]オプションをクリックすると、PTC-285カメラで撮影された画像をプレビューウィンドウから確認できます。



Video

Video オプションでは、ビデオフォーマット、エンコードレベルを含む様々なパラメータを設定することができます。また、ファーストストリームとセカンドストリームのエンコードプロトコル、解像度、ビットレート、フレームレート、Iキーフレーム間隔、ビットレート制御を設定することができます。

Video オプションのメインインターフェイスを下図に示します。

datavideo

Live
Video
Image
Audio
System
Network
Information

Zoom In Zoom Out
Focus In Focus Out
Pan Speed 10
Tilt Speed 10
Zoom Speed 5
Focus Speed 5
Set Call
Preset
PTZ Back
Language English

Video Settings

Video Format Dial Priority
Encode Level mainprofile

First stream

Encode Protocol H264
Resolution 1920x1080
Bit Rate 8192
Frame Rate 30 fps
I Key Frame Interval 30
Bit Rate Control CBR

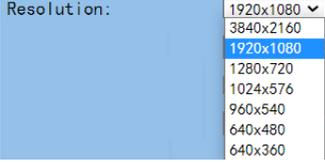
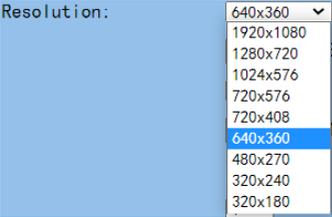
Second stream

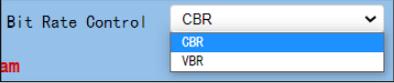
Encode Protocol H264
Resolution 640x360
Bit Rate 1024
Frame Rate 30 fps
I Key Frame Interval 30
Bit Rate Control CBR

Apply Cancel

Video オプションの各項目の説明については、次表を参照してください。

項目	説明
	<p>Video Format 50Hz(PAL)、60Hz(NTSC)、ダイヤルプライオリティの3フォーマットをサポートできます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 50Hz (PAL): このオプションを選択すると、ストリーミングビデオの1秒あたりの最大フレームレート (FPS) は50になります。 • 60Hz (NTSC) : このオプションを選択すると、ストリーミングビデオの1秒あたりの最大フレームレートは60になります。 • Dial Priority (ダイヤル優先) : このオプションを選択すると、1秒あたりの最大フレームレートは30になります。ビデオフォーマットとフレームレートを含むパラメータは、カメラのOSDメニュー設定に影響される可能性があります。 <p>注 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HS-1300、SE-120 MU、SE-650のようなインターレース形式のみをサポートするDatavideoスイッチャーにPTC-285カメラを接続する場合は、ビデオ形式として【Dial Priority】オプションを忘れずに選択するようにしてください。 2. PTC-285 の Web UI で 50Hz または 60Hz を選択した場合、PTC-285 カメラのSDI または HDMI 出力フォーマットは 1080p 50/60 に固定されます。 	
	<p>Encode Level メインプロファイルとハイプロファイルの2つのエンコードレベルから、必要なエンコードレベルを選択することができます。</p>
	<p>Encode Protocol (First Stream & Second Stream) H.264、H.265とMJPEGの3つのエンコードプロトコルから「第1ストリーム」と「第2ストリーム」に適用するものを選択できます。</p>

<p>Resolution for the first stream</p> 	<p>Resolution (First Stream & Second Stream)</p> <p>本機では2つのストリーミングの解像度を異なるものに変えることができません。左記の第1ストリームの解像度と2番目のストリームの解像度を含む2つのドロップダウンメニューから選択可能です。解像度が高くなると比例して画像がより鮮明になりますが、ネットワーク帯域幅を占有するネットワークの数が増えます。</p>
<p>Resolution for the second stream</p> 	<p>Bit Rate (First Stream & Second Stream)</p> <p>ビットレートの範囲をユーザー自身で決定できます。1つ目のストリームのBit Rateは32～51200kbpsの範囲です。2つ目のストリームのBit Rateの範囲は、32-20480kbpsです。</p> <p>注：ネットワークの帯域幅が狭く、Bit Rateの設定が高すぎる場合、ビデオストリーミングが正常に転送されず、視聴者の視覚効果が低下する原因となることがあります。</p>
<p>Bit Rate 8192</p> 	<p>Frame Rate (First Stream & Second Stream)</p> <p>ドロップダウンメニューからフレームレートを自分で設定できます。範囲は1から60です。フレームレートの値が高いと、画面がより滑らかになります。フレームレートの値が小さい場合は、滑らかでない動画になります。</p>
<p>Bit Rate 1024</p> 	<p>Frame Rate (First Stream & Second Stream)</p> <p>ドロップダウンメニューからフレームレートを自分で設定できます。範囲は1から60です。フレームレートの値が高いと、画面がより滑らかになります。フレームレートの値が小さい場合は、滑らかでない動画になります。</p>
<p>Frame Rate 30 fps</p> 	<p>Frame Rate (First Stream & Second Stream)</p> <p>ドロップダウンメニューからフレームレートを自分で設定できます。範囲は1から60です。フレームレートの値が高いと、画面がより滑らかになります。フレームレートの値が小さい場合は、滑らかでない動画になります。</p>

	<p>I Key Frame Interval (First Stream& Second Stream) 2つのIフレーム間の間隔を設定できます。間隔が長くなると、表示ウィンドウからの応答速度が低くなります。</p>
	<p>Bit Rate Control (First Stream& Second Stream) ビットレート制御には、CBR と VBR を含む 2 つの方法があります。CBR: ビデオエンコーダは、デフォルトの速度に従ってビデオをエンコードします。 VBR: ビデオエンコーダは最高画質にするために、デフォルト値に従ってエンコード速度を調整することによってビデオをエンコードします。</p>
	<p>Apply Key オプション設定後、[Apply]キーをクリックして初めてすべての変更が有効になります。</p>
	<p>Cancel Key [Cancel]キーを押すと、すべての変更はキャンセルされます。</p>

60FPS/50FPS ビデオストリーミング後の PTC-285 と Datavideo スイッチャの接続方法（HS 1300 を例とする）

ビデオのストリーミング用に PTC-285 Web UI の[Video]→[Video Settings] ドロップダウン メニューから 50Hz または 60Hz オプションを選択すると、PTC-285 HDMI/SDI 出力は 1080p 50/60 に固定されます。

ただし、Datavideo HS-1300 スイッチャーは、1080p ビデオフォーマットではなく、1080i ビデオフォーマットにのみ対応しています。そのため、PTC-285をHS-1300スイッチャーに接続する場合、PTC-285とHS-1300のビデオフォーマットを一致させるために、PTC-285を再度設定する必要があります。また、HS-1300 で受信する入力画面を正しく表示されることを保証できます。PTC-285とHS-1300の設定は、以下の手順で行ってください。

●1080i59.94への調整を例にとって説明します。

1. PTC-285のリモコンにある[MENU]ボタンを押して、OSDメニューを開いてください。
2. OSDメニューが開いたら、[Micro Joystick]を下に動かして[Setup]オプションを選択し[Micro Joystick]を押して[Setup]オプションに入ります。
3. [Video Format]オプションで[Micro Joystick]を左または右に動かし、1080i60、1080i59.94または 1080i50ビデオ形式を選択します。
4. HS-1300スイッチャーのコントロールパネルにある[MENU]ボタンを押し、OSDメニューを開きます。
5. 下矢印ボタンで[Setup]を選択してください。
6. 右矢印ボタンで[Standard]1080i59.94を選択し、[Enter]ボタンでこのオプションを入力し、さらに調整してください。
7. [Standard]のフォーマットが1080i59.94でない場合、コントロールパネルにある上矢印ボタンと下矢印ボタンでビデオフォーマットを1080i 59.94に調整してください。
8. [Standard]を選択し、再度[Enter]ボタンを押して決定してください。
9. もう一度右矢印ボタンを押して、[Save Setup]オプションを選択してください。
10. 左矢印ボタンと右矢印ボタンで[Yes]を選択し、再度[Enter]ボタンを押して設定を保存してください。
11. 設定が保存された後、[MENU]ボタンを押して前のメニューに戻り、HS-1300のOSDメニューを終了してください。このステップまででHS-1300の[Standard]オプションの設定は終了です。
12. PTC-285のWeb UIを開いてください。
13. [Video]オプションをクリックし、[Video Format]ドロップダウンメニューから[Dial Priority]を選択します。



14. [Apply]ボタンをクリックします。
15. [System]オプションの[Reboot]ボタンをクリックして、PTC-285を再起動させてください。
16. PTC-285 が再起動した後、SDI ケーブルを使って PTC-285 のリアパネルにある 3G-SDIインターフェースをHS-1300のリアパネルにある「SDI IN インターフェース」に接続するか、HDMI ケーブルを使って PTC-285のリアパネルにあるHDMIインターフェースをHS-1300のリアパネルにある「HDMI IN インターフェース」に接続してください。その後、PTC-285で撮影した映像がHS-1300の「MULTIVIEWウィンドウ」に正しく表示されることを確認できます。

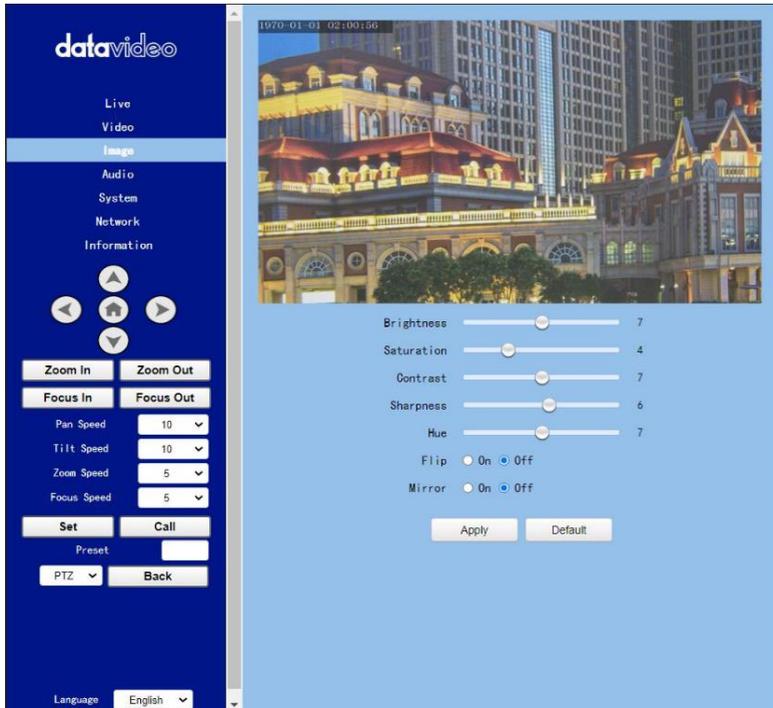
SDI の場合：HS-1300の背面パネルにある SDI IN 1 ～ SDI IN 4 インターフェースは、MULTIVIEW ウィンドウの入力 1 ～ 入力 4 を表します。

HDMI の場合：HS-1300のリアパネルにある HDMI IN 1 から HDMI IN 2 インターフェースは、MULTIVIEW ウィンドウの入力 5 から入力 6 を表します。

注：Datavideo社のSE-650、HS-1200 MU、HS 1300スイッチャーは1080iビデオフォーマットのみをサポートしています。従って、1080p ビデオフォーマットは、上記のスイッチャーではサポートされていません。PTC-285 カメラをSE-650 または HS 1200 MU スwitchャーに接続する場合は、PTC-285 ウェブ UI の[Video→Video Format]で[Dial Priority]（ダイヤル優先）項目を選択することを忘れないでください。また、PTC-285 で撮影した映像が上記スイッチャーの MULTIVIMULTIVIEW ウィンドウに正常に表示されないことがあるため、接続前に PTC-285 カメラの OSD メニューと上記スイッチャーの OSD メニューで同じビデオ規格に調整してください。

Image

[Image] (画像)オプションでは、PTC-285で撮影した画像をプレビューウィンドウから確認することができます。また、このインターフェースでは、明るさ、彩度、コントラスト、シャープネス、色相など多くのパラメータをスライダーで調整することができます。画像オプションのメインインターフェイスは下図の通りです。



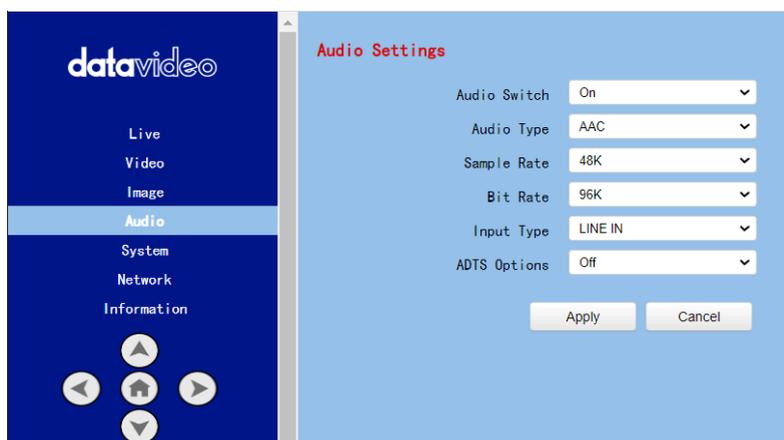
- 明るさ：スライダーを使用して、明るさを調整します。
- 彩度：スライダーを使用して、彩度を調整します。
- シャープネス：スライダーを使用して、シャープネスを調整します。
- 色相：スライダーを使用して、色相を調整します。
- Flip：該当のON/OFFをチェックします。ONはカメラで撮影された映像が反転されます。
- ミラー：該当のON/OFFをチェックします。ONはカメラで撮影された映像がミラーリングされます。

- デフォルト : [Default] (初期設定) ボタンをクリックすると、工場出荷時の設定になります。
- 全ての調整が終了したら、[Apply] (適用) ボタンをクリックし、設定完了です。

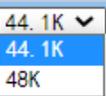
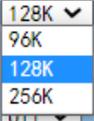
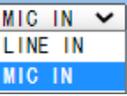
Audio

Audio オプションでは、オーディオ関連のパラメータを設定することができます。

メインインターフェースは次のとおりです。



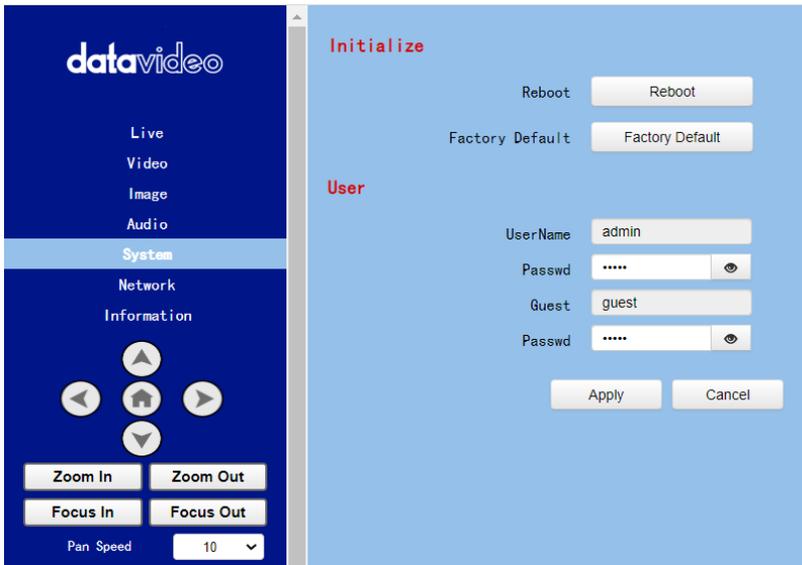
Audio オプションの各項目の説明については、以下の通りです。

項目	説明
<p>Audio Switch:</p> 	<p>Audio Switch オーディオ ソースの入力をオンまたはオフにできます。</p>
<p>Audio Type:</p> 	<p>Audio Type 入力オーディオのエンコード形式を選択できます。デフォルトのオーディオタイプは AAC 形式です。</p>
<p>Sample Rate:</p> 	<p>Sample Rate 入力オーディオ ソースのサンプルレートを44.1Kと48Kの2つのサンプルレートから選択できます。</p>
<p>Bit Rate:</p> 	<p>Bit Rate 任意のビット レートを選択できます。</p>
<p>Input Type:</p> 	<p>Input Type オーディオ信号の入力方法を選択できます。外部接続MICまたはLINE INからオーディオを入力することができます。</p>
<p>ADTS Options:</p> 	<p>ADTS Option ADTS をオンまたはオフにできます。</p>

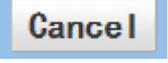
	<p>Apply Key オプション設定後、[Apply]キーをクリックして初めてすべての変更が有効になります。</p>
	<p>Cancel Key [Cancel]キーを押すと、すべての変更がキャンセルされます。</p>

System

System オプションでは、リブート、工場出荷時設定、ユーザー名、パスワードなどの機能を設定できます。User/Guest Name、Passwordを含む機能を選択することができます。システム・オプションの基本的な機能は以下の通りです。また、[Factory Default]（工場出荷時設定）オプションは、Web UI ではなく OSD メニューを工場出荷時設定に戻すことに注意してください。



Systemオプションの各項目の説明については、以下の通りです。

項目	説明
	<p>Reboot このボタンを押すとカメラが再起動されます。</p>
	<p>Factory Default 「工場出荷時設定」ボタンを押すと、再確認ボックスが表示され「OK」を押すと、PTC-285のOSDメニューが工場出荷時の初期設定になります。</p>
	<p>User ユーザーとゲストのユーザー名とパスワードを設定する項目です。設定が終了したら、[Apply]を押して設定を適用してください。 ユーザーのデフォルトのユーザー名/パスワードは「admin/admin」です。 ゲストのデフォルトのユーザー名/パスワードは「guest/guest」です。</p>
	<p>Apply Key オプション設定後、[Apply]キーをクリックして初めてすべての変更が有効になります。</p>
	<p>Cancel Key [Cancel]キーを押すと、すべての変更がキャンセルされます。</p>

Network

Network オプションではネットワーク関連の機能を多数設定できます。次の図はネットワークオプションの基本的な機能です。

datavideo

Live
Video
Image
Audio
System
Network

Information

Zoom In Zoom Out
Focus In Focus Out
Pan Speed 10
Tilt Speed 10
Zoom Speed 5
Focus Speed 5
Set Call
Preset
PTZ Back
Language English

Lan Settings

IP Configuration Type Dynamic IP Address
IP Address 192.168.100.88
Subnet Mask 255.255.255.0
Gateway 192.168.100.1
DNS Address 8.8.8.8
MAC Address D4:E0:8E:55:FD:60
Apply Cancel

Port Settings

HTTP Port 80
RTSP Port 554
TCP Port 5678
UDP Port 1259
Sony Visca 52381

Control Protocol Settings

Pelco-D Address 0
Pelco-P Address 0

RTMP(S) Settings

First Stream On Off Video Audio
MRL rtmp://192.168.100.138/live/stream0
Second Stream On Off Video Audio
MRL rtmp://192.168.100.138/live/stream1

datavideo

Live
Video
Image
Audio
System

Network

Information

Zoom In

Zoom Out

Focus In

Focus Out

Pan Speed

Tilt Speed

Zoom Speed

Focus Speed

Set

Call

Preset

PTZ

Back

Language

SRT Settings

SRT On Off

SRT Mode

SRT Server

SRT Port

SRT Encryption

SRT Password

SRT Bandwidth Overhead

SRT Variable Latency

SRT StreamId

RTSP Settings

RTSP Auth On Off

ONVIF Settings

ONVIF On Off

ONVIF Auth On Off

Multicast Settings

Multicast On Off

Address

Port

SDK Settings

Active Connection On Off

Address

Port

Focus In

Focus Out

Pan Speed

Tilt Speed

Zoom Speed

Focus Speed

Set

Call

Preset

PTZ

Back

Language

NTP Settings

NTP time sync On Off

Time Zone

Server address

Time interval (min)

Main time show On Off

Position

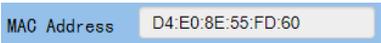
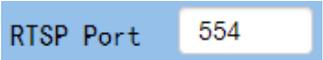
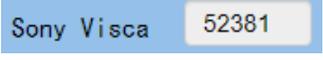
Sub time show On Off

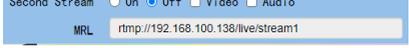
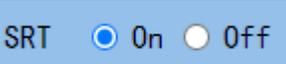
Position

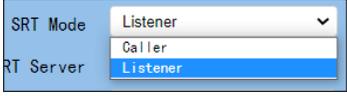
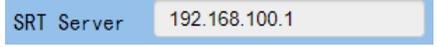
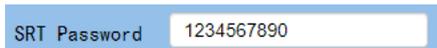
Apply

Cancel

Network オプションの各項目の説明については、以下の通りです

項目	説明
	<p>IP Configuration Type このドロップダウンメニューでは、静的 IP または DHCP モードを選択できます。[Fixed IP Address]を選択すると、静的IPモードで動作します。[Dynamic IP Address]を選択すると、DHCPモードで動作します。</p>
	<p>IP Address/Subnet Mask/Gateway/DNS Address 静的IP アドレスを選択した場合、ユーザーは関連するパラメータを手動で設定できます。設定が完了したら、[Apply] ボタンをクリックして、これらの設定が有効になります。</p>
	<p>MAC Address MACアドレスです。ユーザーが変更することはできません。</p>
	<p>HTTP Port HTTPポートのナンバーを確認できます。デフォルトは80です。</p>
	<p>RTSP Port RTSPポートのナンバーを確認できます。デフォルトは554です。</p>
	<p>TCP Port TCPポートのナンバーを確認できます。デフォルトは5678です。</p>
	<p>UDP Port UDPポートのナンバーを確認できます。デフォルトは1259です。</p>
	<p>Sony Visca Sony Viscaポートのナンバーを確認できます。デフォルトは52381です。</p>

	<p>Pelco-D Address 0～254の範囲でPelco-D アドレスを設定できます。</p>
	<p>Pelco-P Address 0～31の範囲でPelco-Pアドレスを設定できます。</p>
	<p>First Stream 第1ストリーム ストリーミングをオン/オフするかどうかを決定できます。ちなみに、ビデオとオーディオのストリーミングを個別にオン/オフにすることもできます。</p> <p>MRL RTMP サーバーアドレスとストリーミングキーをストリーミングプラットフォームからコピーしてMRL 列に貼り付け、[Apply]ボタンを押してストリーミングを正常に開始してください。</p>
	<p>Second Stream 第2ストリーム ストリーミングをオン/オフするかどうかを決定できます。ちなみに、ビデオとオーディオのストリーミングを個別にオン/オフにすることもできます。</p> <p>MRL RTMP サーバーアドレスとストリーミングキーをストリーミングプラットフォームからコピーしてMRL 列に貼り付け、[Apply]ボタンを押してストリーミングを正常に開始してください。</p>
	<p>SRT On/Off SRT ストリーミング機能をオンまたはオフにできます。</p>

	<p>SRT Mode SRT ON/OFFをONにすると、このドロップダウンメニューから[Caller]または[Listener]モードを選択することができます。</p>
	<p>SRT Server SRTサーバーは、PTC-285カメラをListener modeに設定し、VmixなどのSRTストリーミングソフトをCaller modeに設定してSRTストリーミング機能を使用する際に、SRTストリーミングソフトに入力するIPアドレスを提供するものです。</p>
	<p>SRT Port SRTポートのナンバーを確認できます。デフォルトは4578です。</p>
	<p>SRT Encryption SRT機能をオンにした場合、このオプションでSRT暗号化方式を選択することができます。AES-128、AES-192、AES-256の3種類の暗号化方式を選択することができます。</p>
	<p>SRT Password SRT暗号化方式を設定する場合、ユーザーはこのパスワードを使用する必要があります。デフォルトは1234567890で、このパスワードはユーザーが変更することができます。</p>
	<p>SRT Variable Latency SRTストリーミングの伝送レイテンシーを設定する欄です。20～8000の範囲でレイテンシーを設定することができます。</p>

<p>SRT Bandwidth Overhead <input type="text" value="25"/></p>	<p>SRT Bandwidth Overhead 帯域幅オーバーヘッドは、ネットワークリンクに応じて設定されるパーセンテージです。このパーセント値をエンコーダでエンコードされたビデオとオーディオの合計ビットレートに掛けると、帯域幅オーバーヘッドで許容される最大オーバーヘッドを得ることができます。この値にビデオとオーディオのビットレートの合計値を加えたものが、現在のSRT伝送帯域幅の最大値であり、このSRTチャンネルの最大帯域幅となります。帯域幅オーバーヘッドの目的は、SRTストリーミングに付随する制御メッセージ・データ・パケットを転送することである。さらに、すべてのメディアパケットの再送信も含まれる。ネットワークリンクの状態が悪くなると、コントロールメッセージデータパケットの交換とメディアデータパケットの再送がより多く必要になります。そして、より高い帯域幅オーバーヘッド値を設定する必要があります。</p>
<p>SRT StreamId <input type="text" value="#!::u=admin"/></p>	<p>SRT Stream ID Enable SRTストリームIDをオンまたはオフにすることができます。ストリームIDは、SRT接続が確立されたときにSRT CallerとSRT Listenerの間で交換される情報です。このストリームIDの情報により、SRT Listenerは特定のSRT Callerからの接続を受け入れるかどうかを決めることができます。</p>
<p>ONVIF <input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off</p>	<p>RTSP Auth RTSP ストリーミングの認証をオンまたはオフにすることができます。</p>
<p>ONVIF: <input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off</p>	<p>ONVIF ONVIF 機能をオンまたはオフにできます。</p>

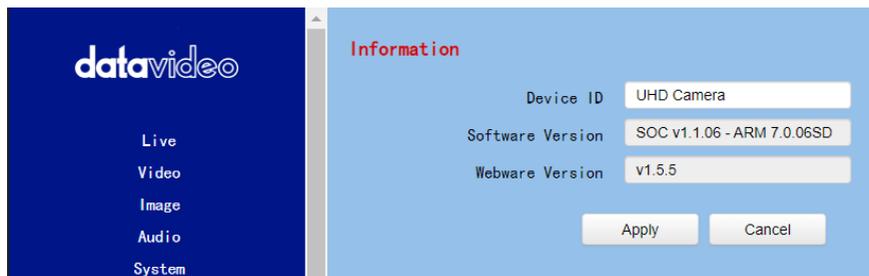
<p>ONVIF Auth: <input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off</p>	<p>ONVIF Auth ONVIF 認証をオンまたはオフにできます。</p>
<p>Multicast: <input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off</p>	<p>Multicast マルチキャスト機能をオンまたはオフにできます。</p>
<p>Address: <input type="text" value="224.1.2.3"/></p>	<p>Address マルチキャストのアドレスを確認できます。デフォルトは224.1.2.3です。</p>
<p>Port: <input type="text" value="1234"/></p>	<p>Port マルチキャストのポートナンバーを確認できます。デフォルトは1234です。</p>
<p>SDK Settings Active Connection: <input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off</p>	<p>SDK Settings SDK 設定のアクティブな接続をオンまたはオフにできます。</p>
<p>Address <input type="text" value="224.1.2.3"/> Port <input type="text" value="1235"/></p>	<p>Address/Port SDK設定のアドレスとポートナンバーを確認できます。 アドレス:192.168.100.138 ポーNO:1234です。</p>
<p>NTP time sync: <input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off</p>	<p>NTP Time Sync NTP タイム同期機能をオンまたはオフにできます。</p>

	<p>Time Zone 自分のタイムゾーンを選択できます。</p>
<p>Server address <input type="text" value="time.google.com"/></p>	<p>Server Address このオプションから、目的のNTPサーバーに入ることができます。</p>
<p>Time interval: <input type="text" value="1440"/> minutes</p>	<p>Time Interval タイムキャリブレーションの時間間隔を設定できます。</p>
<p>Main time show <input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off Position X <input type="text" value="0"/> Y <input type="text" value="0"/></p>	<p>Main Time Show/Position 主時間の時間表示機能を開いたり閉じたりすることができます。 さらに、異なるX座標とY座標位置を入力して、画面に時間を表示する位置を決定することができます。(許容される設定範囲は0～100です)。</p>
<p>Sub time show <input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off Position X <input type="text" value="0"/> Y <input type="text" value="0"/></p>	<p>Sub Time Show/Position サブタイムの時間表示機能を開いたり閉じたりできます。 さらに、ユーザーは異なるX座標とY座標位置を入力して、画面に時間を表示する位置を決定することができます。(許容される設定範囲は0～100です)。</p>
<p><input type="button" value="Apply"/></p>	<p>Apply Key オプション設定後、[Apply]キーをクリックして初めてすべての変更が有効になります。</p>
<p><input type="button" value="Cancel"/></p>	<p>Cancel Key [Cancel]キーを押すと、すべての変更がキャンセルされます。</p>

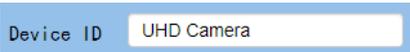
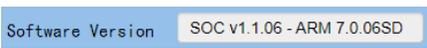
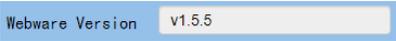
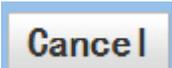
Information

Information オプションでは、ユーザー自身がデバイス名を変更することができます。また、ソフトウェアバージョンやウェブウェアバージョンを含むメッセージも表示されます。

Information オプションの基本的な機能は、以下の通りです。

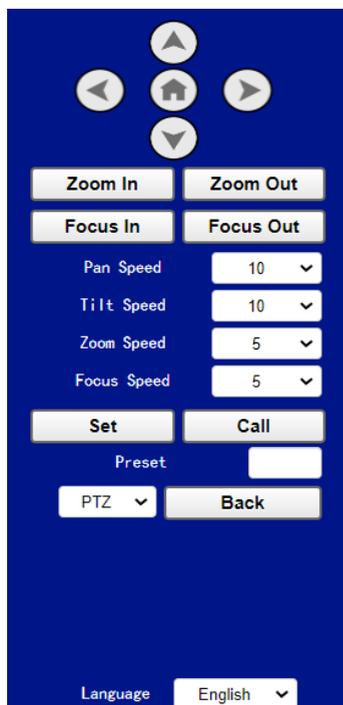


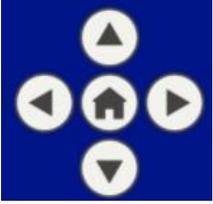
Information オプションの各項目の説明については、以下の通りです

項目	説明
	Device ID この列で、デバイス ID を自分で決定できます。任意のデバイスIDを入力し、[Apply]ボタンをクリックしてください。
	Software Version 現在のソフトウェアバージョンを表示します。
	Webware Version Web ベースのコントロール UI のバージョンを表示します。
	Apply Key オプション設定後、[Apply]キーをクリックして初めてすべての変更が有効になります。
	Cancel Key [Cancel]キーを押すと、すべての変更がキャンセルされます。

Web UIの PTZ コントロールエリア

PTC-285カメラのWeb UIのPTZ コントロールエリアでは、PTZカメラレンズの方向、Zoom In、Zoom Out、Focus Near、Focus Far パラメータをコントロールすることが可能です。さらに、パン、チルトスピード、プリセット設定、プリセットコール機能を調整することもできます。PTZコントロールエリアは以下の通りです。



項目	説明
  【Home】キー	<p>UP/Down/Left/Right/Home Keys</p> <p>上下左右のキーをクリックすることができ、PTZカメラレンズは割り当てられた方向に回転します。 [Home]キーを押すと、カメラのレンズは自動的に初期位置に戻ります。 [Home]キーと[Back]キーを同時に使う場合、[OSD]を選択したまま[Back]キーを押すとOSDメニューが外部の接続画面に表示され、ユーザーがブラウザの上下左右キーを使用してカメラを制御できます。</p>
	<p>Zoom In/Zoom Out/Focus In/Focus Out</p> <p>カメラレンズをズームイン/ズームアウトするには、それぞれ[Zoom In]/[Zoom Out]をクリックします。カメラレンズの焦点を近く/遠くに合わせるには、それぞれ[Focus In]/[Focus Out]をクリックします。</p>
	<p>Pan Speed</p> <p>PTZカメラレンズの回転速度を1～24の範囲から調整することができます。数値が大きいほど、PTZカメラレンズの回転速度が速くなります。</p>
	<p>Tilt Speed</p> <p>カメラレンズの垂直回転速度を1～20の範囲から調整できます。数値が大きいほど、PTZカメラレンズの回転速度が速くなります。</p>
	<p>Zoom Speed</p> <p>PTZカメラレンズのズームイン/ズームアウト速度を0～7の範囲から調整することができます。数値が大きいほど、PTZカメラレンズの速度が速くなります。</p>
	<p>Focus Speed</p> <p>PTZカメラレンズの「近くにフォーカス」/「遠くにフォーカス」する速度を0～7の範囲から調整できます。数値が大きいほど、PTZカメラレンズの速度が速くなります。</p>

	<p>Set and Call Presets</p> <p>PTC-285は、ユーザーが設定する255プリセット(0-254)を提供します。</p> <p>プリセット位置を設定するには[Set]ボタンを、事前に保存されたプリセットを呼び出すには[Call]ボタンを使用します。</p>
	<p>OSD/PTZ Drop-Down Menu</p> <p>ブラウザから OSD オプションを押すと、OSD メニューをすぐに呼び出すことができます。OSDメニューが表示された後にPTZを選択すると、OSDメニューを閉じ、画面がカメラで撮影されたシーンに戻ります。</p>
	<p>Language Drop-Down Menu</p> <p>ドロップダウンメニューで、繁体字中国語、ロシア語、英語、簡体字中国語の4つの言語を選択できます。</p>

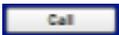
Web UIを使ったプリセットの設定と呼び出し方法

プリセットの設定と呼び出しは、以下の手順で行ってください。

• プリセットの設定方法

1. あらかじめ、ご希望のカメラパラメータやカメラレンズの位置を調整しておいてください。
2. [Preset]欄  にご希望のプリセット番号を入力してください。
3. [Set]ボタン  をクリックしてください。プリセットが正常に設定されます。

• プリセットの呼び出し方法

1. 呼び出したいプリセット番号を[Preset]欄  に入力してください。
2. [Call]ボタン  をクリックすると、プリセットが正常に呼び出されます。

PTZ View Assistアプリでカメラを操作する

Datavideoは、AndroidまたはiOSの携帯電話を使用して最大4台のPTC-285カメラを制御するためのPTZ View Assist アプリを提供します。

PTZ View Assist アプリと同じLAN内に固定IPアドレスで端末やタブレットを設定し、Wi-Fi接続でカメラの各種機能をコントロールすることができます。

PTZ View Assist アプリは、以下のアドレスから Android または iOS のプラットフォーム用にダウンロードしてください。

注：Datavideo PTZ View Assist アプリはDVIPモードでのみ操作できます。そのため、Datavideo PTZ View Assist アプリを使用する前に、PTC-285 カメラを DVIP モードに調整することを忘れないでください。

Androidデバイスの場合：Google Play にアクセスして[PTZ View Assist]を検索し、ダウンロードとインストールをしてください。

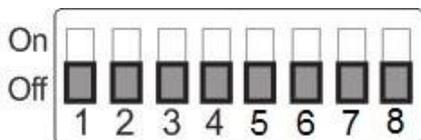
iOSデバイスの場合：App Store にアクセスして[PTZ View Assist]を検索し、ダウンロードとインストールをしてください。



DIPスイッチの設定

DIPスイッチ SW1

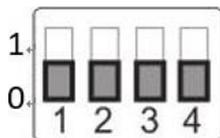
カメラの底面にあるディップスイッチ SW1 で、カメラの VISCA ID の設定、リモートコントロールの有効化、ビデオ解像度の選択、ビデオモードの選択方法を設定することが可能です。



DIP スイッチ 1/2/3	VISCA ID
(1,2,3) = (ON,OFF,OFF)	VISCA-ID 1
(1,2,3) = (OFF,ON ,OFF)	VISCA-ID 2
(1,2,3) = (ON ,ON ,OFF)	VISCA-ID 3
(1,2,3) = (OFF,OFF,ON)	VISCA-ID 4
(1,2,3) = (ON ,OFF,ON)	VISCA-ID 5
(1,2,3) = (OFF,ON ,ON)	VISCA-ID 6
(1,2,3) = (ON ,ON ,ON)	VISCA-ID 7
DIP スイッチ 4	リモートコントロールプロトコル
未接続	未接続
DIP スイッチ 5/6/7	解像度
(5,6,7) = (OFF,OFF,OFF)000	1920 x 1080i 59.94
(5,6,7) = (ON,OFF,OFF)100	1920 x 1080i50
(5,6,7) = (OFF,ON,OFF)010	1920 x 1080p 59.94
(5,6,7) = (ON,ON,OFF)110	1920 x 1080p 50
(5,6,7) = (OFF,OFF,ON)001	3840 x 2160p 29.97
(5,6,7) = (ON,OFF,ON)101	3840 x 2160p 25
(5,6,7) = (OFF,ON,ON)011	3840 x 2160p 59.94
(5,6,7) = (ON,ON,ON)111	3840 x 2160p 50
DIP スイッチ 8	映像モード選択方法
ON	DIP スイッチのみで選択
OFF	メニューで選択

DIPスイッチ SW2 (IRID)

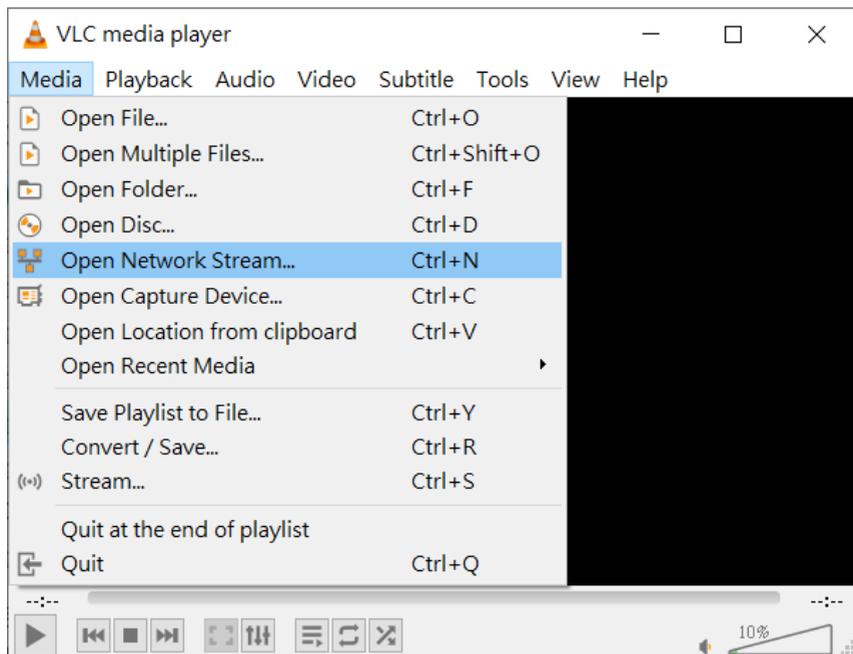
IRID DIPスイッチは、PTC-285 カメラの背面パネルにあります。このDIPスイッチにより、カメラにID番号を付与し、[CAMERA SELECT]ボタンでカメラ間を移動できるようにします。



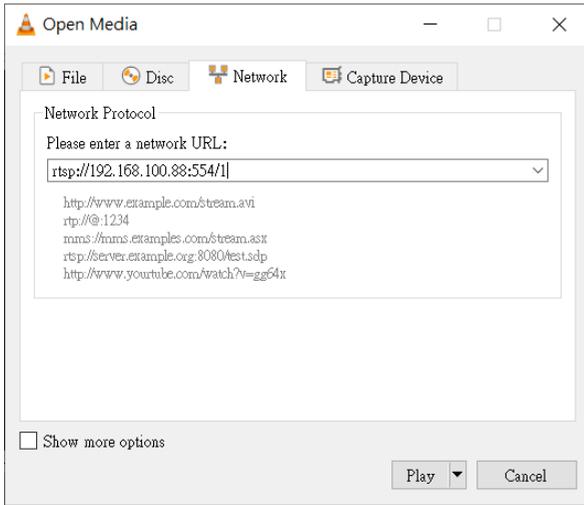
DIP スイッチ 1/2	カメラセレクト機能 (IR リモコン) - カメラ ID の割り当て
(1,2) = (0,0)	CAM1 (IR)
(1,2) = (1,0)	CAM2 (IR)
(1,2) = (0,1)	CAM3 (IR)
(1,2) = (1,1)	CAM4 (IR)
* DIP SW 3/4 は常に OFF にしてください。	

VLC PlayerによるRTSPストリームの再生方法

VLC Playerを使用してRTSPストリーミングを再生するには、以下の手順で行ってください。

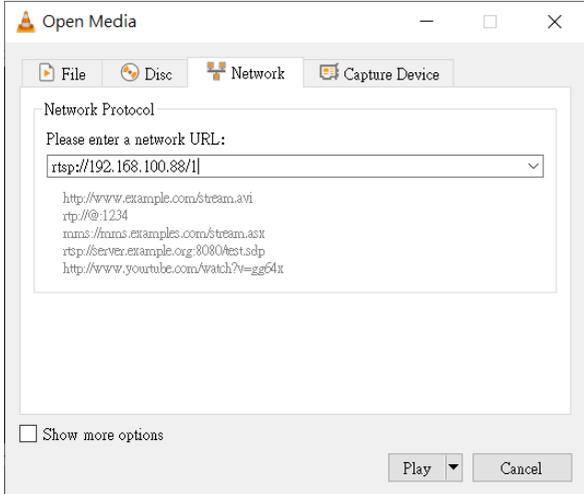


1. VLC Playerを開いてください。
2. [Media -> Open Network Stream]をクリックしてください。
3. RTSPアドレスを入力してください。
rtsp://ip address: port No./1 (first stream).
rtsp://ip address: port No./2 (second stream).



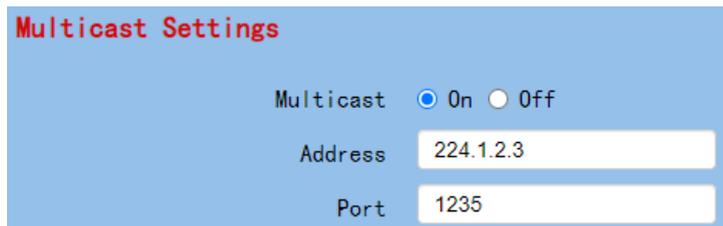
4. [Play]ボタンをクリックしてください。

注：RTSPのデフォルトポート番号は554です。カメラのデフォルトhttpポートが80の場合、ユーザーがポート番号を入力する必要はありません。



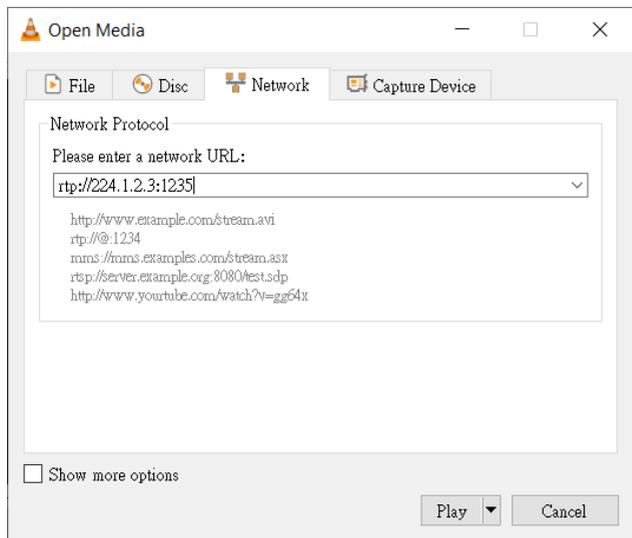
VCL Playerによるマルチキャストの再生方法

RTP Multicastは、VLC Playerなどの特定のビデオプレーヤーでカメラ映像を遠隔視聴することを可能にします。



VLC PlayerでRTP Multicastを再生するには、以下の手順で行ってください。

1. リンク <https://www.videolan.org> から VLC media player をダウンロードします。
2. VLCを開き、[Media]->[Open Network Stream]をクリックし、`rtp://224.1.2.3:1235` を入力して、ビデオストリーミングを表示することができます。



3. [Play]ボタンをクリックすると、ビデオストリームの視聴が開始されます。

Facebookへの配信方法

Facebook Streaming プラットフォームへのストリーミングは、以下の手順で行ってください。

● Facebook Live Producerを使ったストリーミング配信

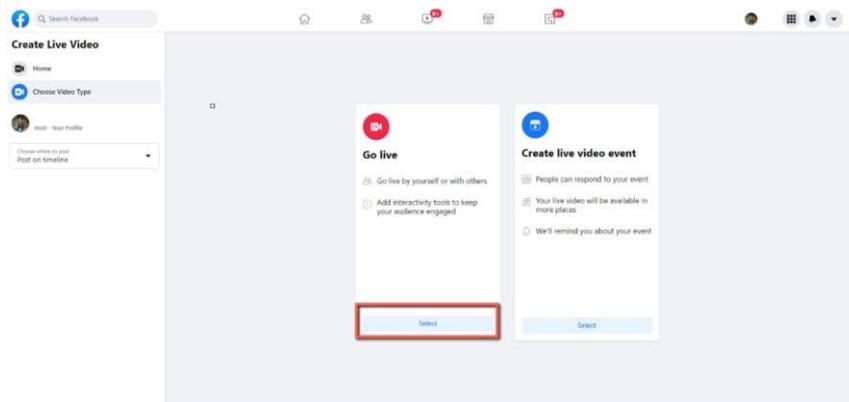
1. Facebook Live のウェブサイト

<https://www.facebook.com/formedia/solutions/facebook-live> にアクセスし、[Go Live Now]ボタンをクリックしてください。

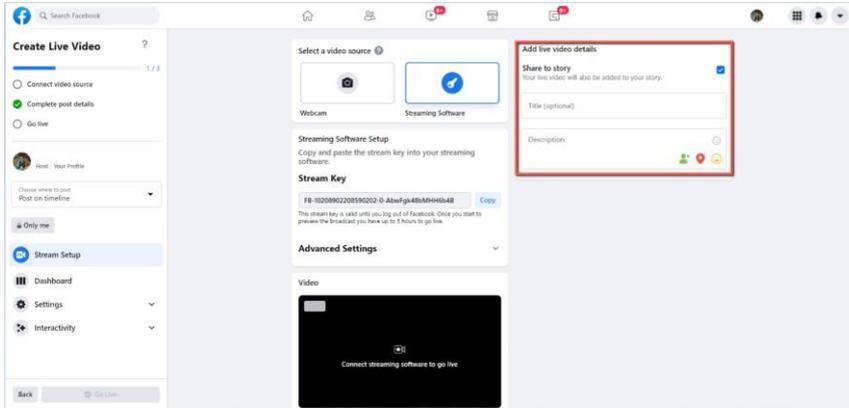


注：Facebook Liveでは、1回の配信が8時間に制限されています。

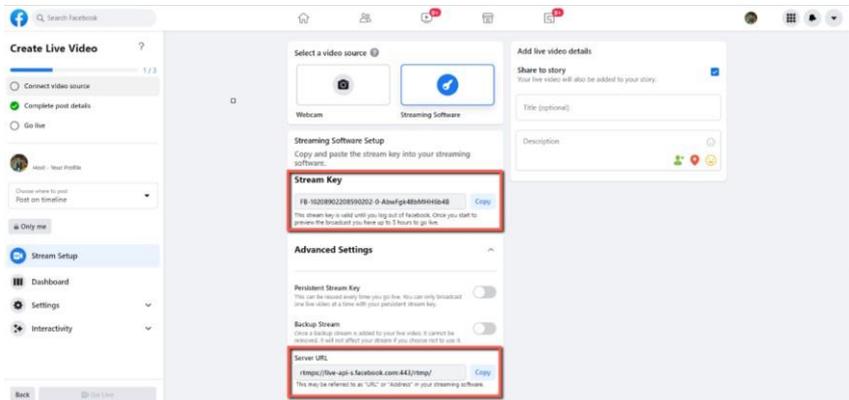
2. [Go live]オプションから[Select]ボタンをクリックしてください。



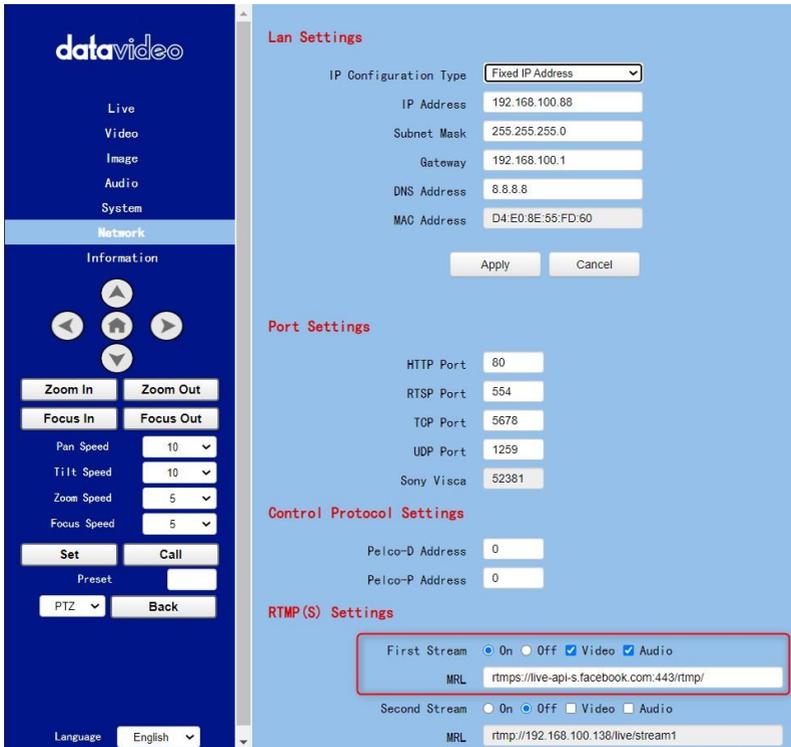
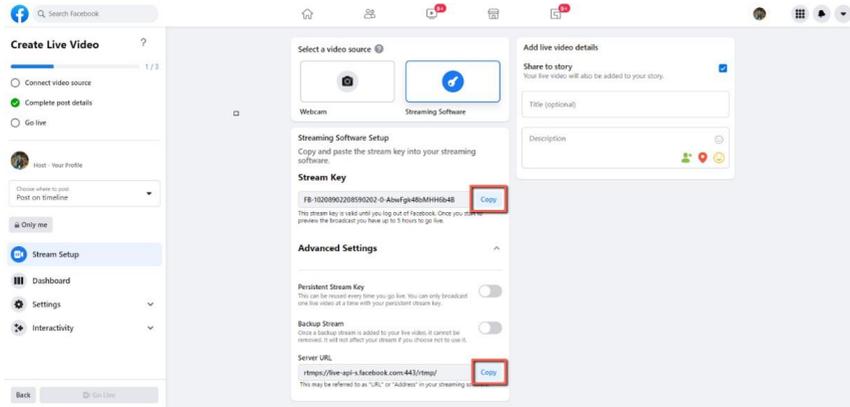
3. [Streaming Software]を選択し、[Title][Description]欄にライブストリーミングビデオのタイトルと説明を入力してください。さらに、ライブストリーミングビデオを Facebookストーリーに共有するかどうかを決定してください。



4. [Advanced Settings]を選択すると、[Server URL]が表示されます。Facebookページで動画をライブ配信するためには、そのページにある [Server URL]と[Stream Key]が必要です。



- [Server URL]と[Stream Key]欄の横にある[Copy]ボタンをそれぞれクリックします。その後、PTC-285のWeb UIの[Network]オプションの[First Stream MRL]列に貼り付けてください。



注：First Stream MRL が[ON]になっていることを確認してください。また、[Video][Audio]のチェックボックスにチェックが入っていることを確認してください。

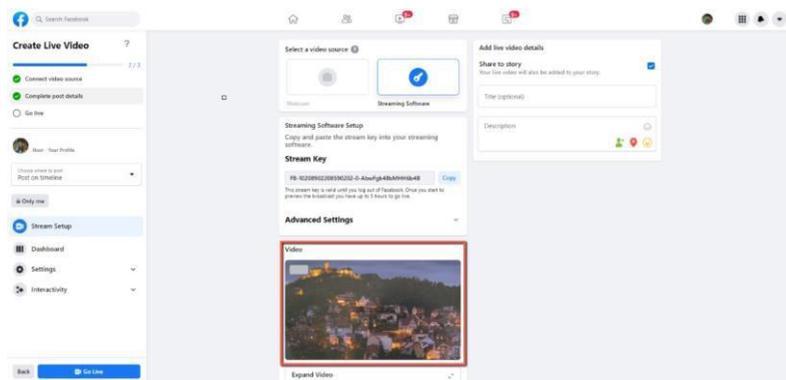
6. [Apply]ボタンをクリックしてください。



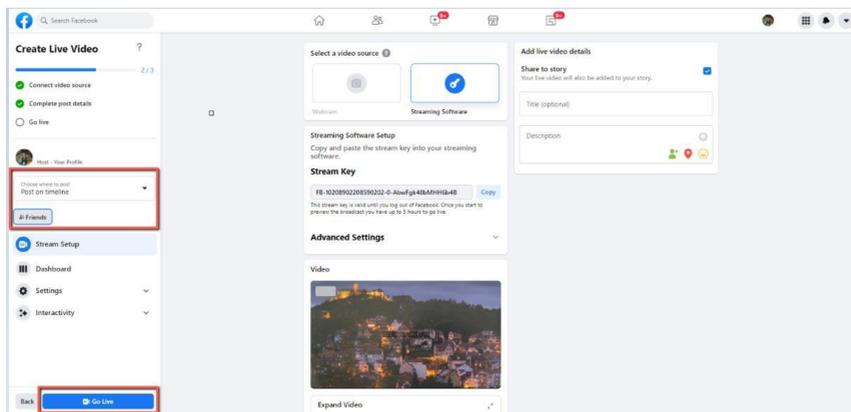
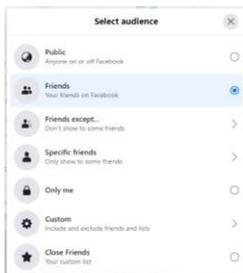
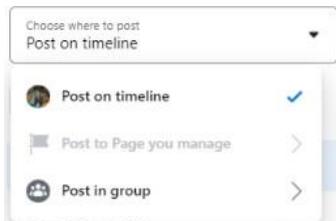
7. [System]オプションの[Reboot]ボタンをクリックし、PTC-285を再起動してください。



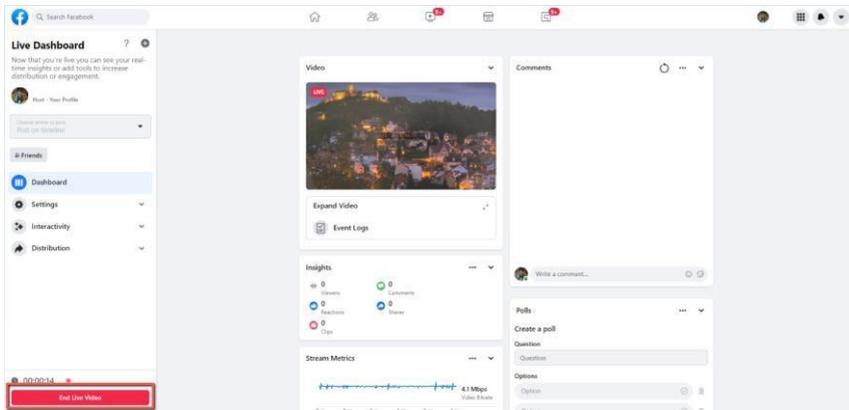
8. PTC-285の再起動後、Facebookライブページの[Video]オプションからPTC-285のカメラで撮影されたリアルタイムプレビューを見ることが出来ます。



9. [Choose where to post] (投稿先の選択)、[Select audience (視聴者の選択)]など、関連する設定を行ってください。その後、[Go Live]ボタンを押すと、PTC-285で撮影したリアルタイム映像がすぐにライブ配信されます。



10. ライブ配信が正常に終了したことが確認できます。ライブ配信を停止したい場合は、[End Live Video]ボタンをクリックし、すぐにライブ配信を停止してください。

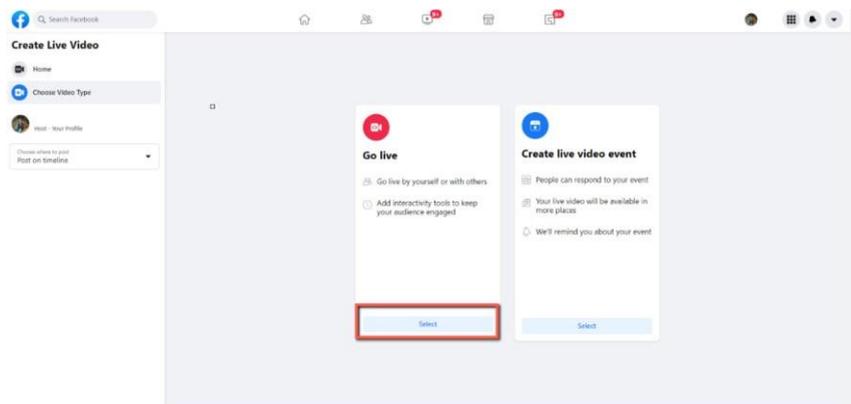


●個人用FacebookページまたはFacebookファンページをストリーミングに利用する

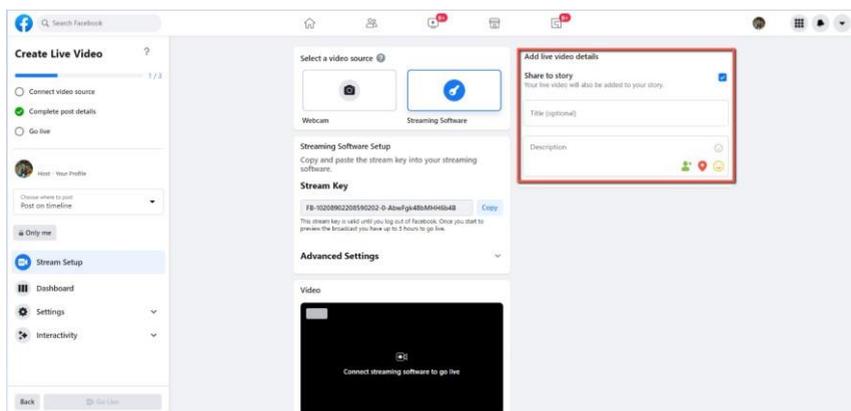
1. Facebook個人ページまたはFacebookファンページより[Live Video]をクリックしてください。



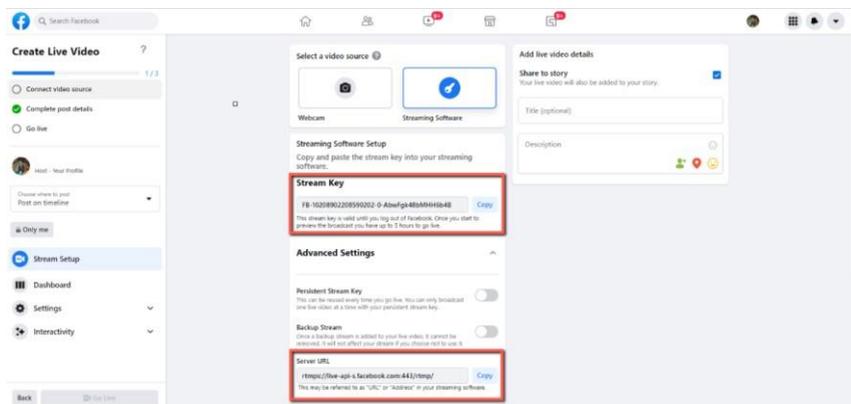
2. [Go live]オプションから[Select]ボタンをクリックしてください。



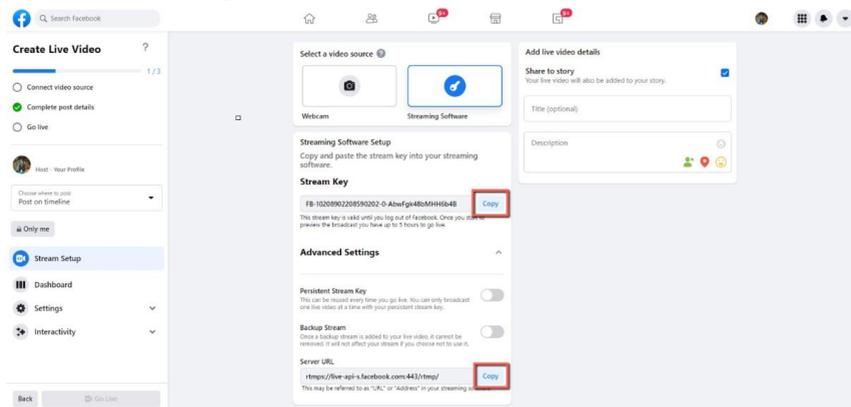
3. [Streaming Software]を選択し、[Title][Description]欄にライブストリーミングビデオのタイトルと説明を入力してください。さらに、ライブストリーミングビデオをFacebookストーリーに共有するかどうかを決定してください。



4. [Advanced Settings] (詳細設定) を選択すると、[Server URL]が表示されます。Facebookページで動画をライブ配信するためには、そのページにある[Server URL]と[Stream Key]が必要です。



5. [Server URL][Stream Key]欄の横にある[Copy]ボタンをそれぞれクリックします。その後、PTC-285のWeb UIの[Network]オプションの[First Stream MRL]列に貼り付けてください。





注：First Stream MRL が[ON]になっていることを確認してください。また、[Video][Audio]のチェックボックスにチェックが入っていることを確認してください。

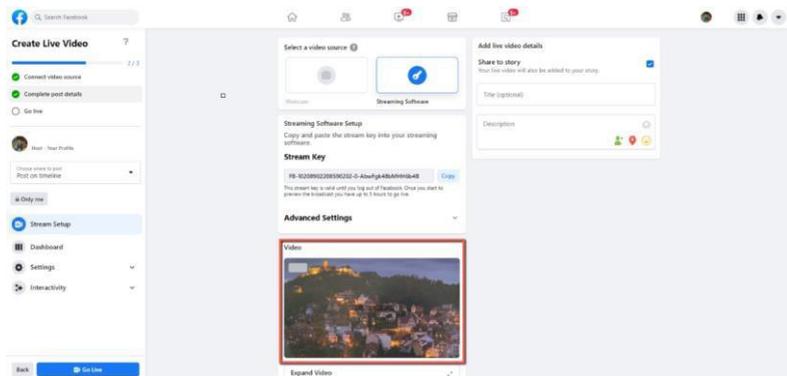
6. [Apply]ボタンをクリックしてください。



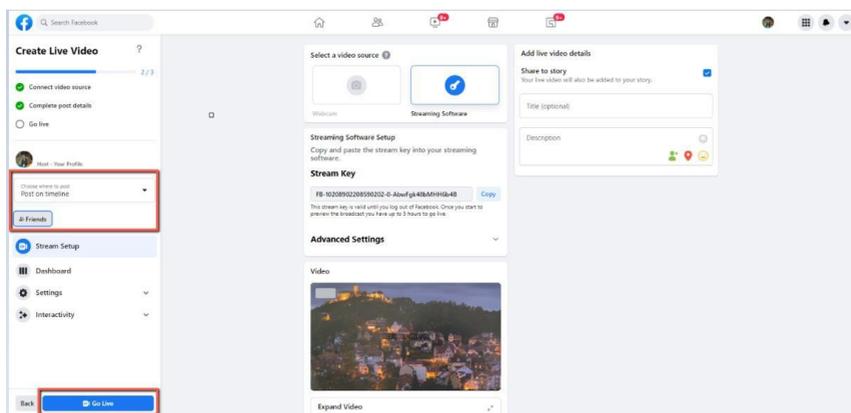
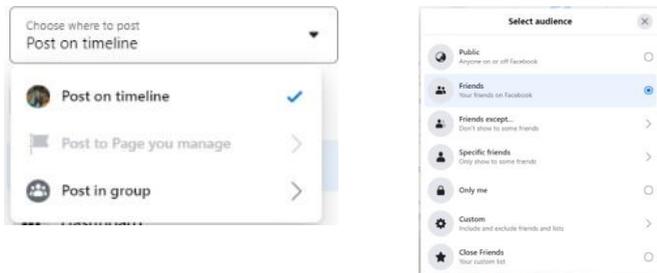
7. [System]オプションの[Reboot]ボタンをクリックし、PTC-285を再起動してください。



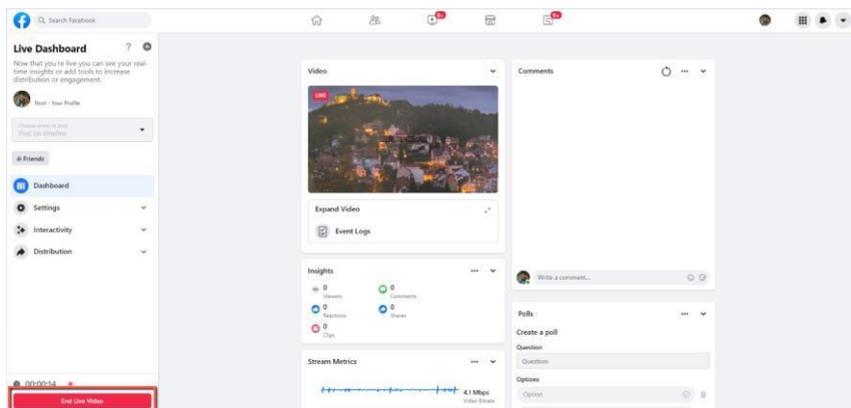
8. PTC-285の再起動後、Facebookライブページの[Video]オプションからPTC-285のカメラで撮影されたリアルタイムプレビューを見ることが出来ます。



9. [Choose where to post] (投稿先の選択)、[Select audience] (視聴者の選択) など、関連する設定を行ってください。その後、[Go Live]ボタンを押すと、PTC-285で撮影したリアルタイム映像がすぐにライブ配信されます。



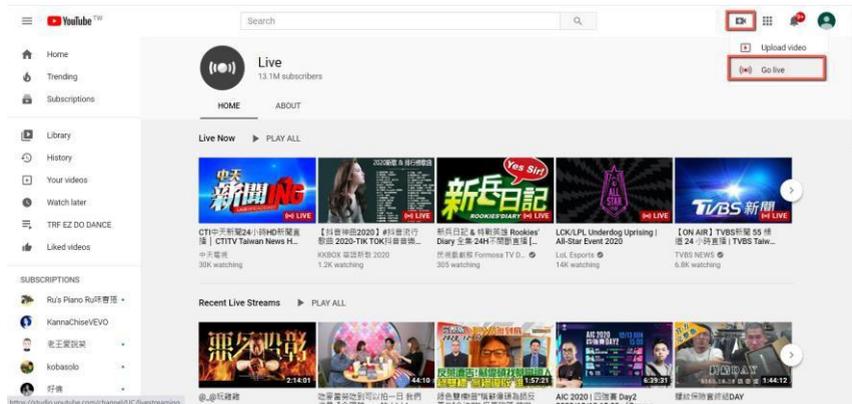
10. ライブ配信が正常に終了したことが確認できます。ライブ配信を停止したい場合は、[End Live Video]ボタンをクリックし、すぐにライブ配信を停止してください。



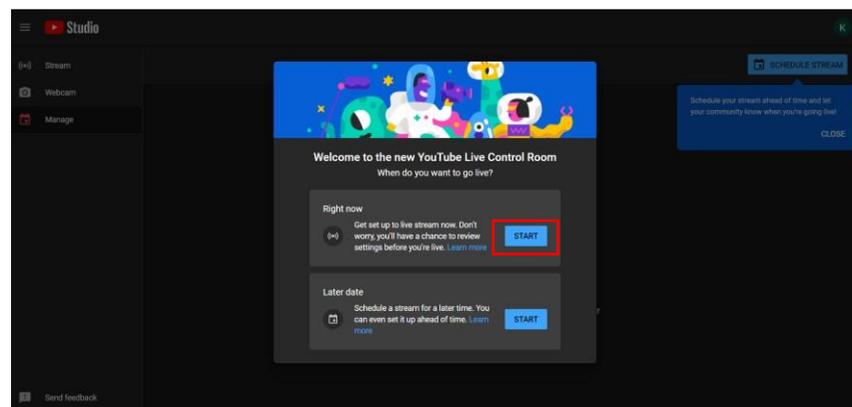
Youtubeへの配信方法

Youtube ストリーミングプラットフォームへの配信方法については、以下の手順をご覧ください。

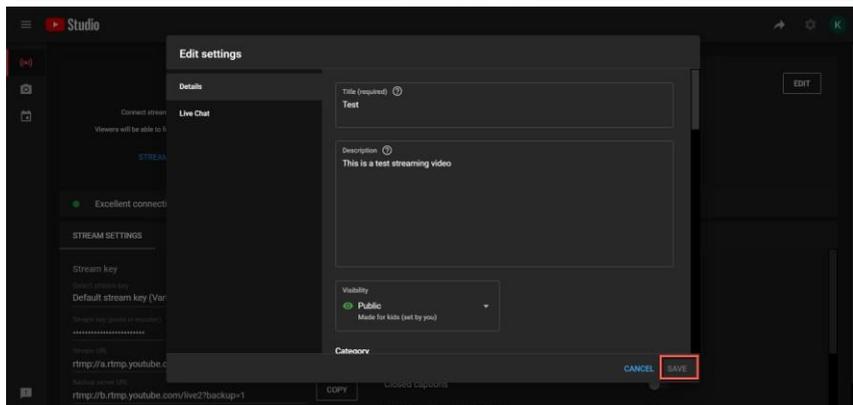
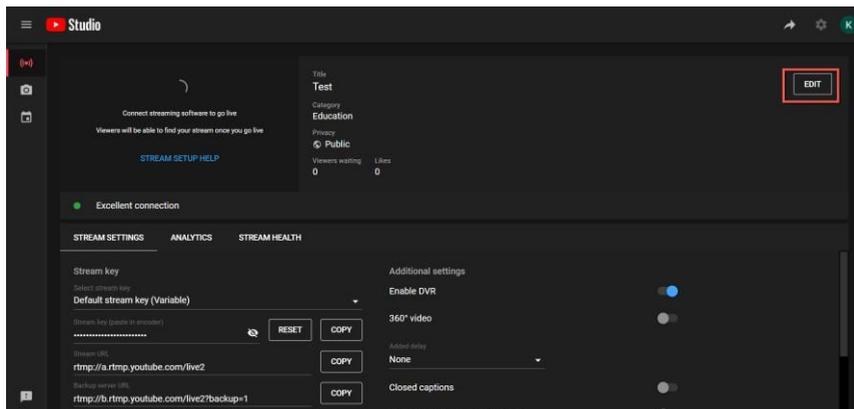
1. Youtube のサイト www.youtube.com にアクセスし、[Create->Go Live]をクリックしてください。



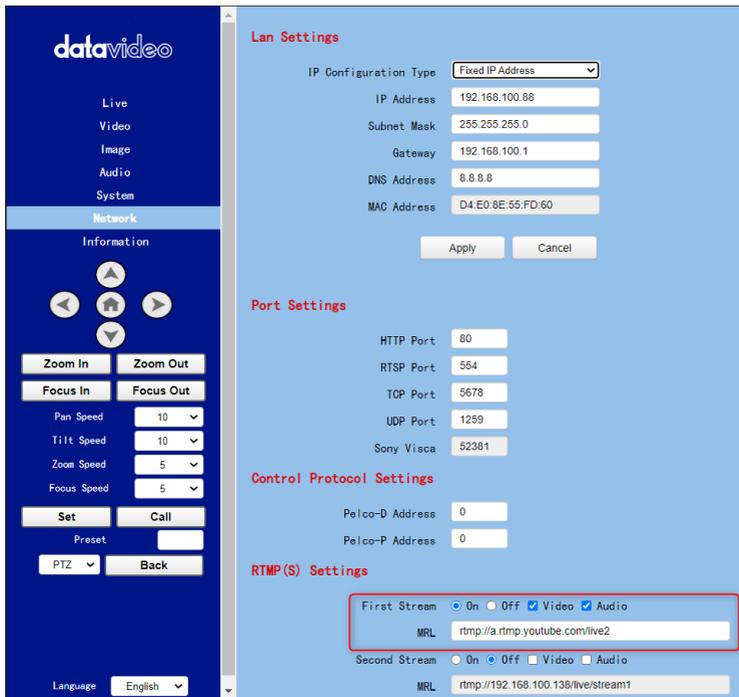
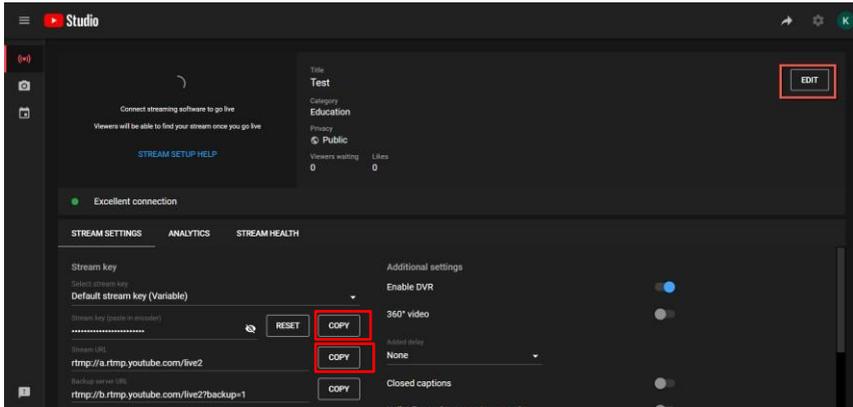
2. [Youtube Live Control Room]ページに入りますので、[Right Now]オプションから[START]ボタンをクリックしてください。



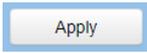
3. [Streaming Software]オプションから[Go]ボタンをクリックしてください。
4. [Youtube Studio]のメインページが表示されます。[EDIT]ボタンをクリックし、ストリーミングの詳細情報を設定してください。入力が完了したら、[SAVE]ボタンをクリックしてください。



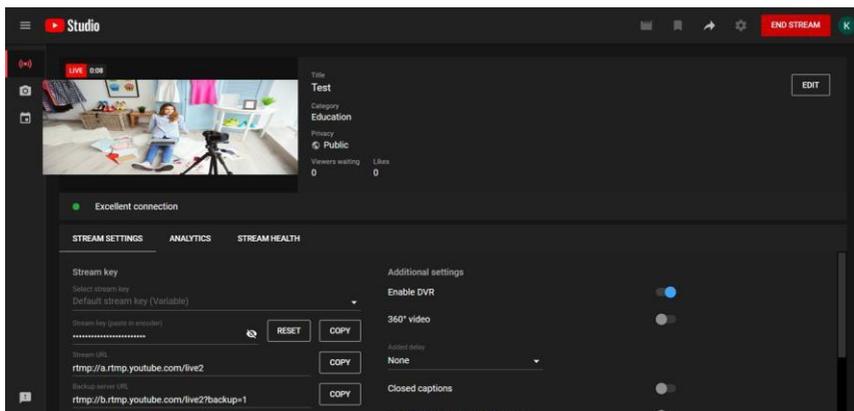
5. Youtube ストリーミングプラットフォームから提供されたストリームキーとストリーム URL が表示されます。ストリームキーとストリームURLをコピーして、PTC-285 Web UIの[Network]オプション内の[First Stream MRL]に貼り付けてください。[On]をクリックし、[Audio][Video]のチェックボックスにチェックを入れてください。



6. [Apply]ボタンをクリックしてください。



7. PTC-285カメラを再起動すると、Youtubeのライブページでストリーミングが開始されているのが確認できます。ライブ配信を停止したい場合は、[END STREAM]ボタンをクリックし、ライブ配信を停止してください。



vMixソフトウェアでSRTストリーミングを行う方法

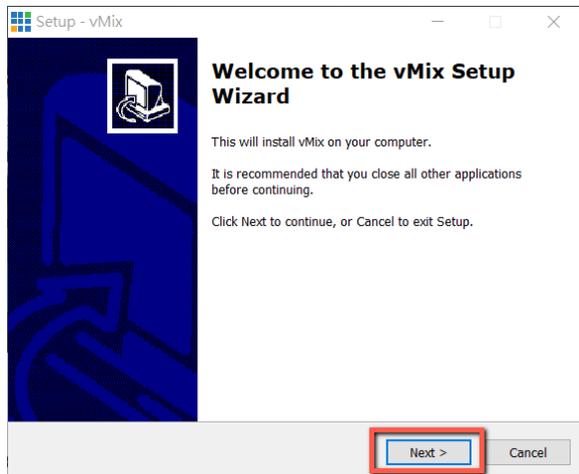
Vmixソフトウェアのインストール方法

以下の手順でvMixソフトウェアをインストールしてください。

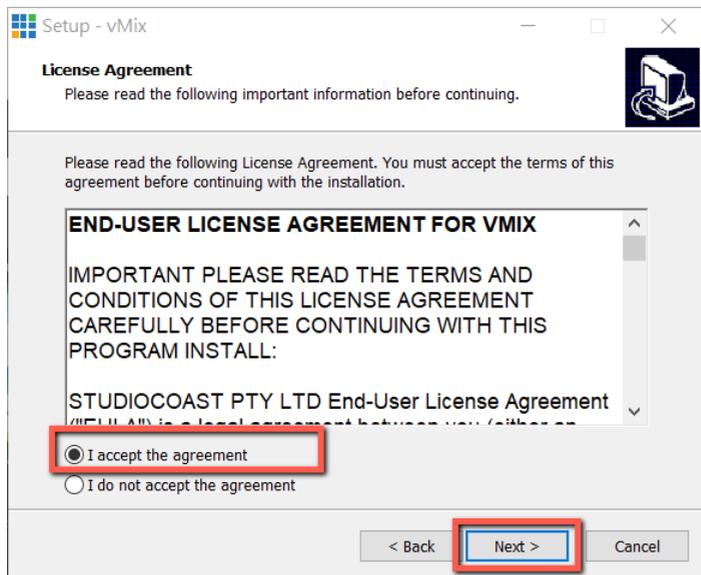
1. まず、vMixの公式サイトにアクセスし、vMixの60日間無料トライアルをダウンロードしてください。ここでは、vMixのフリートライアルを例にして、操作手順を説明します。[DOWNLOAD FREE TRIAL]をクリックしてください。ボタンをクリックすると、ダウンロードが始まります。



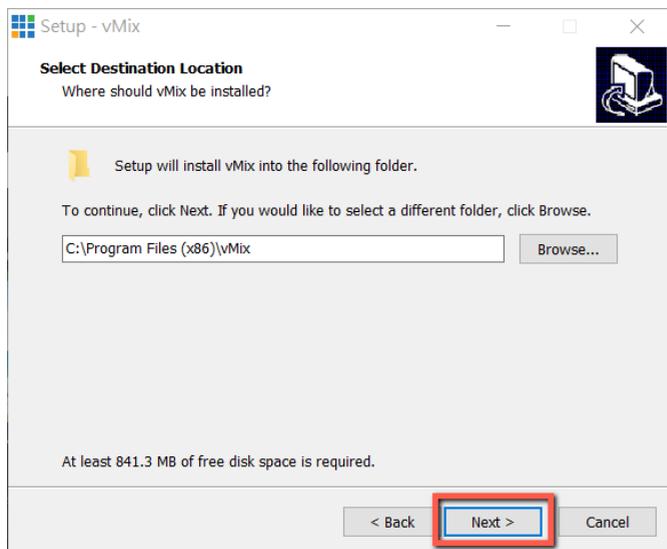
2. vmix23.exe をダブルクリックしてください。  vmix23
3. [Next]ボタンをクリックしてください。



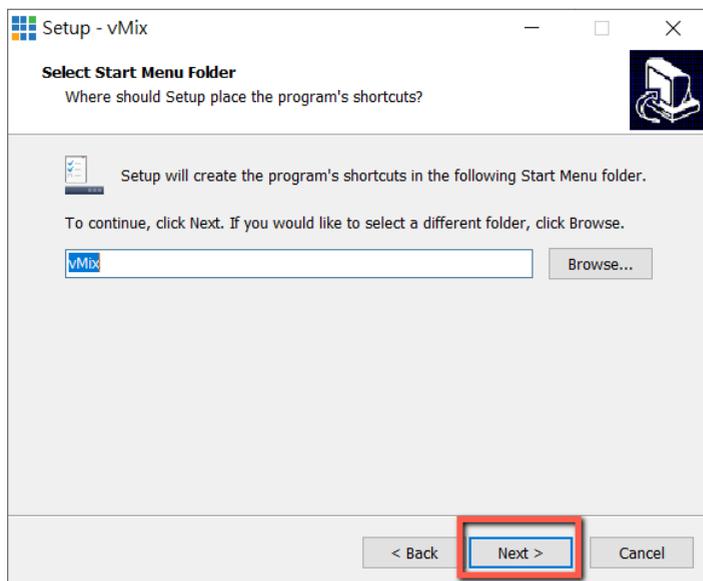
4. [I accept the agreement] (同意する) をクリックし、[Next]ボタンをクリックしてください。



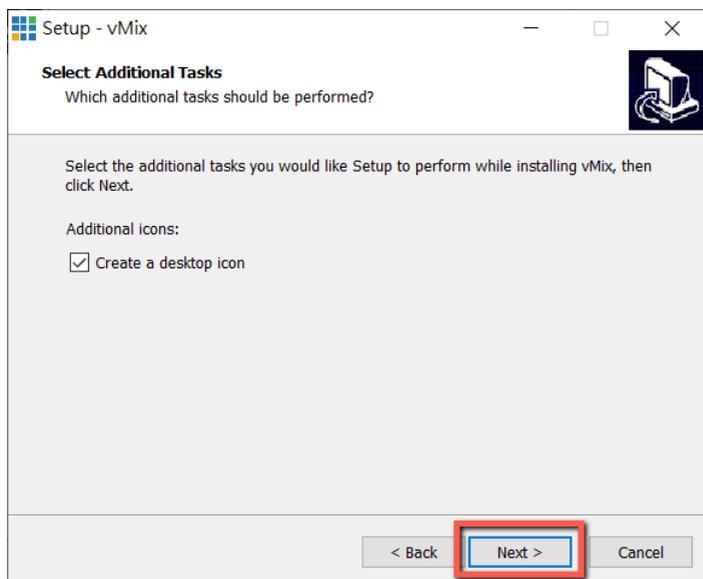
5. [Next]ボタンをクリックしてください。



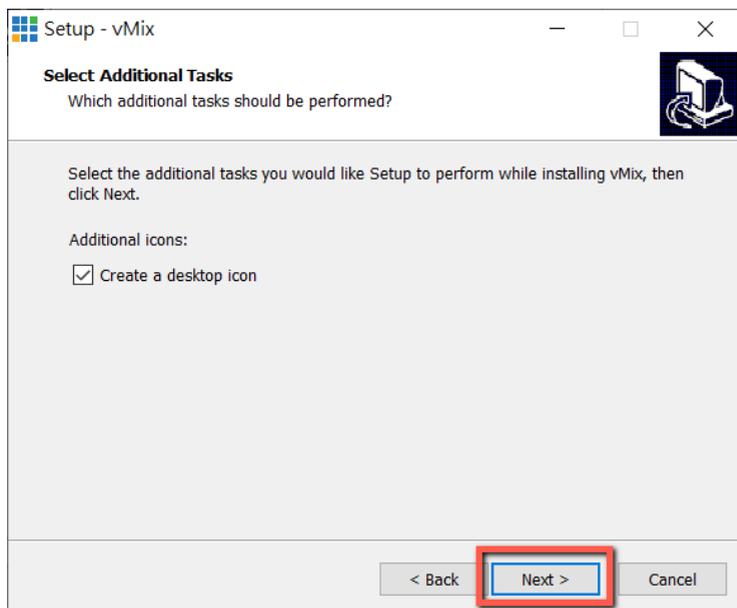
6. [Next]ボタンをクリックしてください。



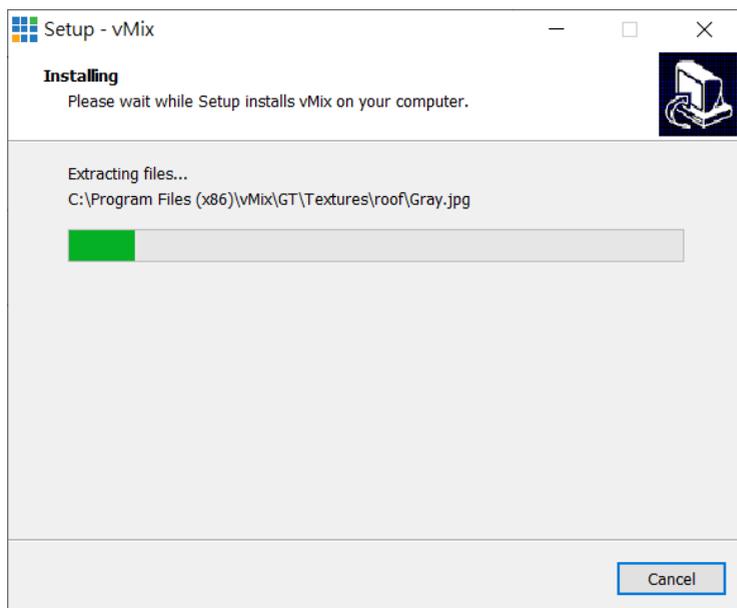
7. [Next]ボタンをクリックしてください。



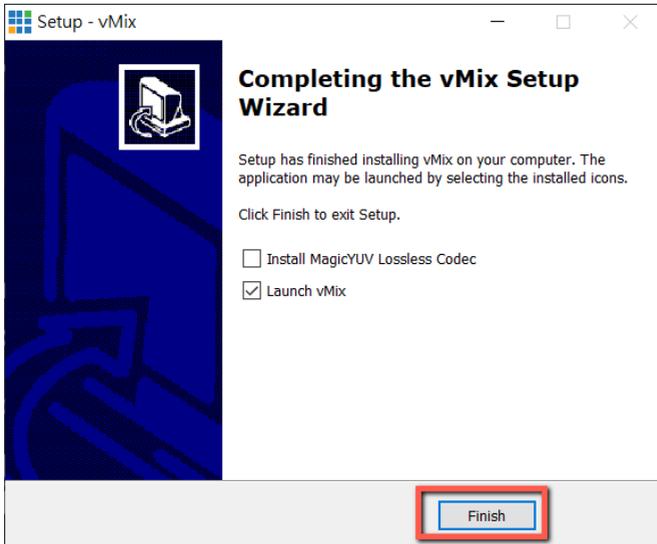
8. [Install]ボタンをクリックしてください。



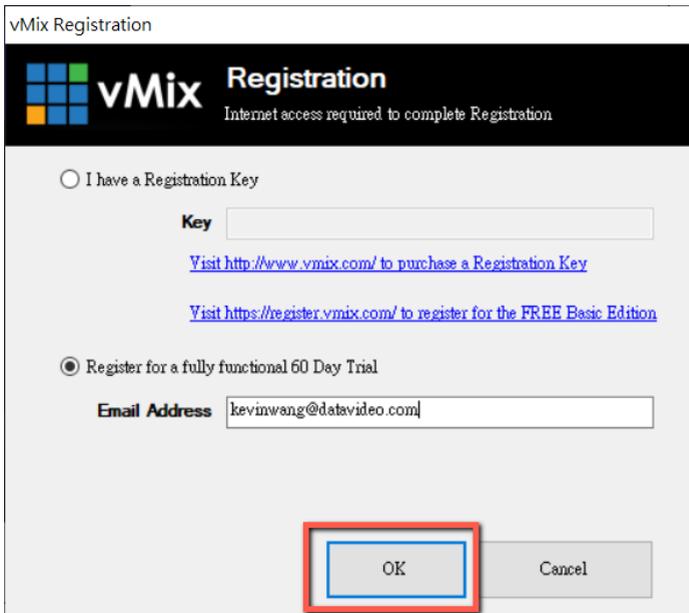
9. インストールが開始されます。



10. [Finish]ボタンをクリックして、インストールを終了してください。



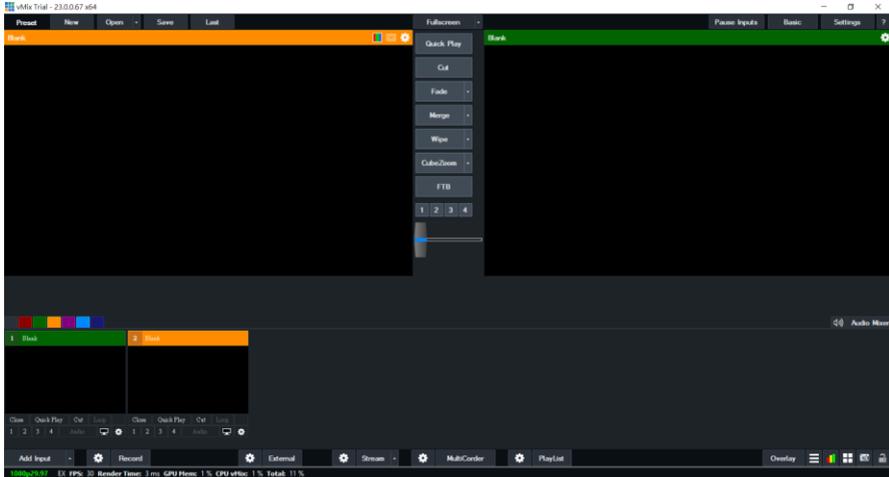
11. [Register for a fully functional 60 Day Trial]（60日間のトライアルに登録する）を選択し、Eメールアドレスを記入してください。その後、[OK]ボタンをクリックすると、vMixソフトウェアが起動します。



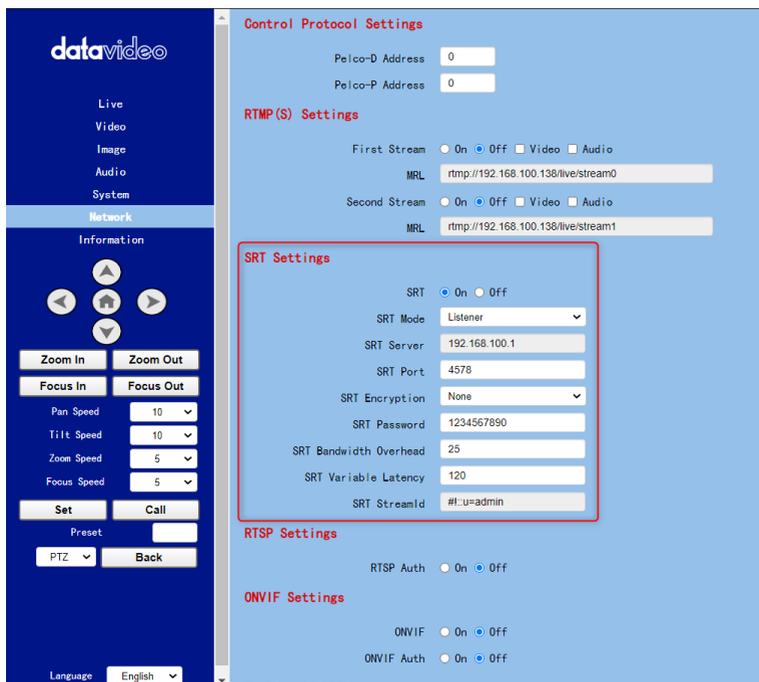
12. 使用したい初期解像度とフレームレートを選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。



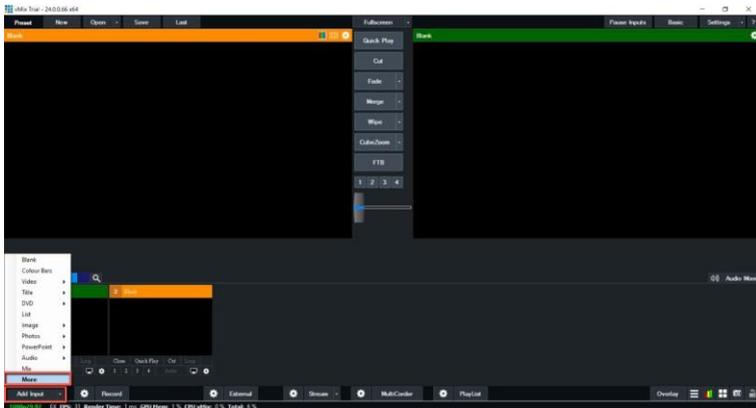
13. vMix を開くと、ソフトウェアのインターフェースは下図のようになります。



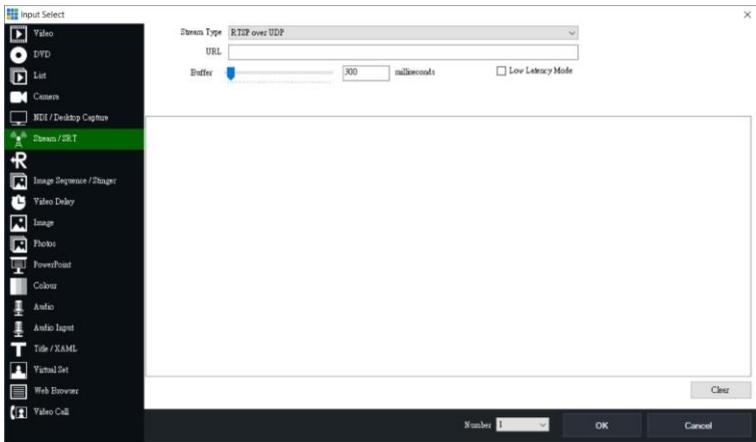
3. PTC-285のインターフェースに戻り、SRT設定の[SRT]オプションが[ON]になっていることを確認してください。[SRT Port]のデフォルト値は「4578」です。[SRT Encryption]ドロップダウンメニューでは、AES 128、AES 192、AES 256 など、希望のSRT暗号化方式を選択することができます。[SRT Encryption]オプションの初期値は[Off]です。ここでは、AES 256 を例に説明します。SRTパスワードを設定する必要がある場合は、[SRT Password]欄に希望のSRTパスワードを入力してください。SRTパスワードは10桁以上の数字である必要があり、デフォルトは「1234567890」です。SRTパスワードの設定が完了したら、Web UI の下側にある[Apply]ボタンを押し、新しい設定を適用してください。



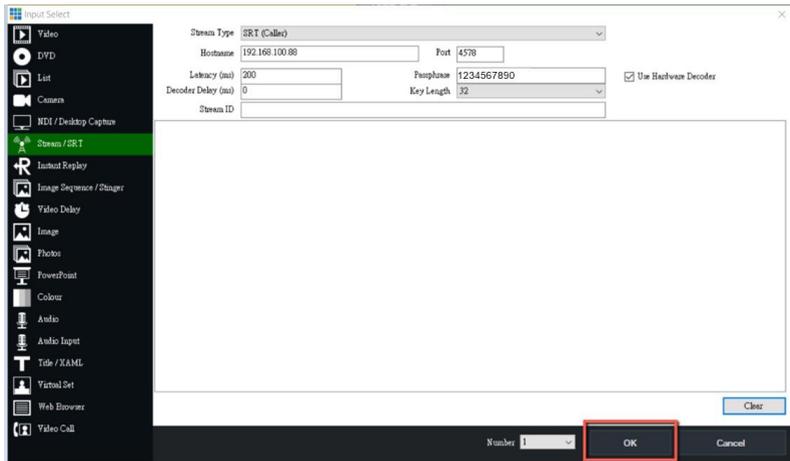
4. Vmixソフトウェアのメインインターフェイスに戻り、[Add Input]ボタンを押してください。その後、ドロップアップメニューから[More]オプションを選択してください。



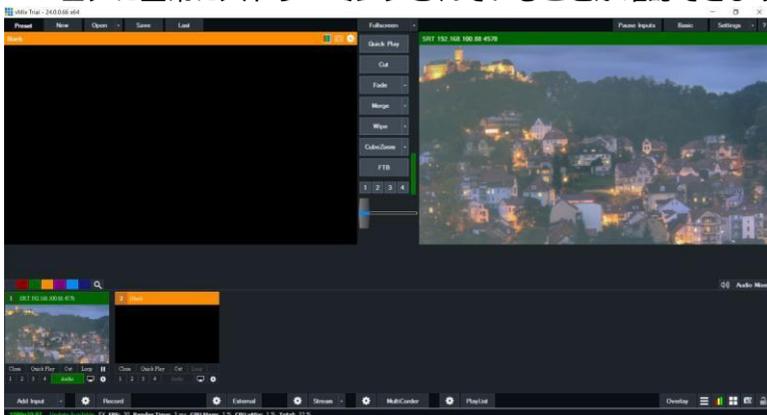
5. [Input Select]オプションが開かれた後、[Stream/SRT]オプションを選択します。次の図のような[Stream/SRT]インターフェイスが表示されます。



6. [Stream Type]ドロップダウンメニューから[SRT Caller]を選択してください。その後、[Hostname]欄にPTC-285のデフォルトIPアドレス「192.168.100.88」を入力してください。また、[Port]欄には、PTC-285のWeb UIの[SRT Port]欄で提供されるデフォルトのSRTポート番号「4578」を入力してください。その後、PTC-285 Web UI で設定したSRTパスワードを[Passphrase]欄に入力してください。デフォルトのパスワードは、「1234567890」です。[Key Length]は、ドロップダウンメニューから「32」を選択してください。すべての値を入力したら、[OK]ボタンを押してください。



7. SRT Listener Mode により、PTC-285で撮影された映像が vMixソフトウェアに正常にストリーミングされていることが確認できます。

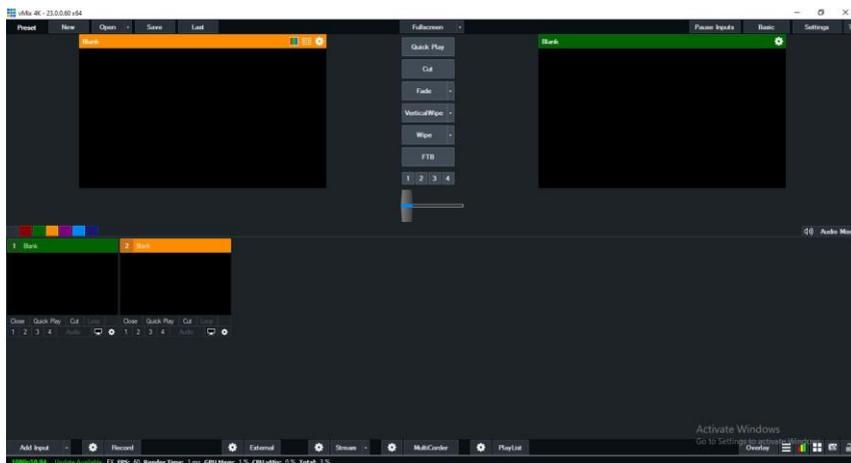


● PTC-285が発信者モードに設定されている場合

1. まず、スタートメニューから[vMix(x64)]をクリックし、vMix のソフトウェアを起動させてください。



2. その後、以下の図のような Vmix のメインインターフェイスが表示されます。



3. まず、PTC-285のWeb UIに戻り、[SRT]オプションから[ON]をクリックしてください。



4. [SRT Mode]のドロップダウンメニューから[Caller]（発信者）を選択してください。



5. vmixソフトウェアをインストールするために使用する機器の固定IPアドレスを入力してください。この例では、Vmixソフトウェアをインストールするために使用するPCの固定IPアドレス「192.168.100.30」を入力しています。機器の固定IPアドレスは、PTC-285の固定IPアドレスと同じLAN内にある必要がありますので、注意してください。



6. SRTポートは、PTC-285のデフォルトのSRTポート番号である「4578」です。

7. [SRT Encryption] (SRT暗号化) ドロップダウンメニューから、ご希望のSRT暗号化の方法を選択してください。ここでは、AES-256を例にとりまず。

SRT Encryption	None
SRT Password	None
bandwidth Overhead	AES-128
	AES-192
	AES-256

8. [SRT Password]オプションに、ご希望のSRTパスワードを入力してください。パスワードは10桁以上の数字であることに注意してください。ここでは、「1234567890」を例として説明します。

SRT Encryption	AES-256
SRT Password	1234567890

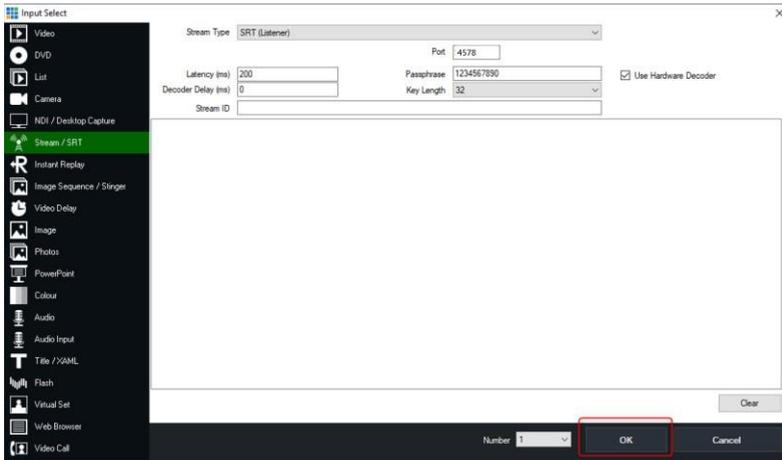
9. [Apply]ボタンを押してください。

Apply

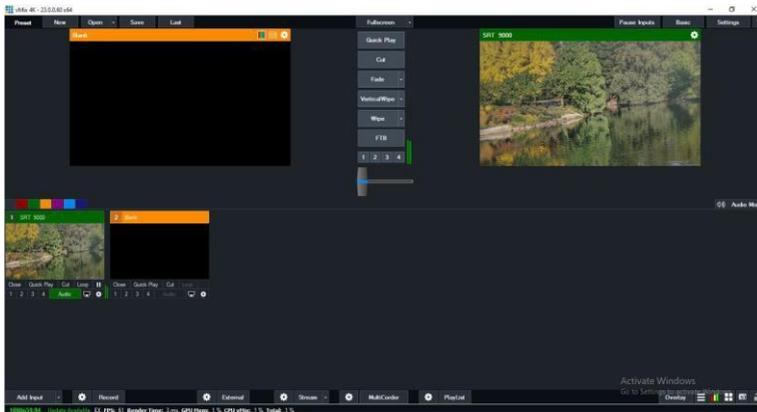
10. PTC-285のWeb UIから[System-> Reboot]で[Reboot]ボタンを押してください。

Reboot Reboot

11. Vmixのインターフェースに戻り、[Add Input]オプションを押して、[More]オプションを押してください。[Stream/SRT]オプションを選択し、[Stream/SRT]オプションから[SRT Listener]を選択してください。[Port]欄にはPTC-285のWeb UIから提供されるデフォルトのポート番号「4578」を入力してください。また、[Passphrase]欄には、PTC-285のWeb UIで設定したSRTのパスワードを入力してください。ここでは、「1234567890」を例とします。その後、[Key Length]のプルダウンメニューから「32」を選択してください。クラウドストリーミングプラットフォームから提供されているSRTストリームIDをお持ちの場合は、[Stream ID]欄にSRTストリームIDを入力してください。すべて入力したら、[OK]ボタンを押してください。



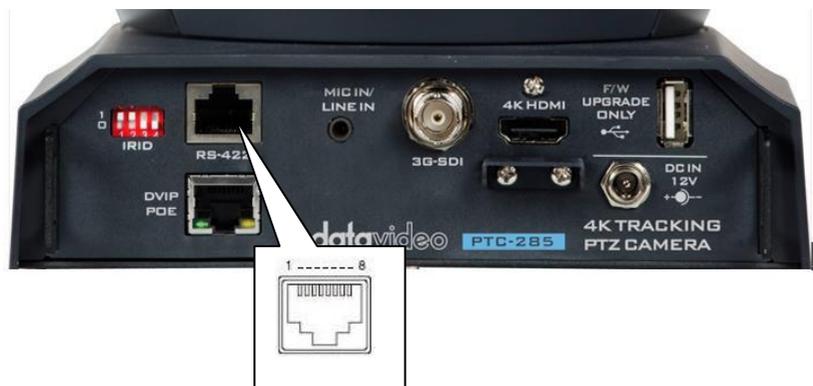
12. PTC-285で撮影された映像が Vmix ソフトにコーラーモードで表示されているのがわかります。



リモートコントロールポートのピンアウト

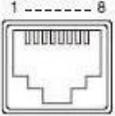
イーサネットポートを使ったリモートコントロールのほか、RS-422リモートポートにPCや任意のキーボードコントローラを接続して、PTC-285を制御することもできます。外部 RS-422 コントローラと PTC-285 を接続するには、イーサネットケーブルを使用します。

リモートコントロールポート

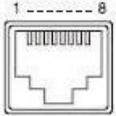
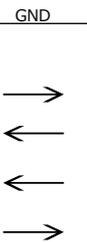


RS-422のピン配列は以下のとおりです。

RMC-180 コントローラ (RJ-45 ポート)		
GND	1	White/Orange
NC	2	Orange
TX-	3	White/Green
RX-	4	Blue
RX+	5	White/Blue
TX+	6	Green
NC	7	White/Brown
NC	8	Brown

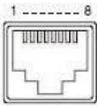


PTC-285 カメラ (RS-422 ポート)		
White/Orange	1	GND
Orange	2	NC
White/Green	3	TX-
Blue	4	RX-
White/Blue	5	RX+
Green	6	TX+
White/Brown	7	NC
Brown	8	NC

RS-232のピン配列は以下のとおりです。

PTC-285 カメラ (RS-232 ポート)		
GND	1	White/Orange
NC	2	Orange
NC	3	White/Green
NC	4	Blue
TX	5	White/Blue
RX	6	Green
NC	7	White/Brown
NC	8	Brown



ファームウェアのアップデート

Datavideoは通常、新機能や報告されたバグフィックスを含む新しいファームウェアを随時リリースしています。お客様は、ファームウェアをダウンロードするか、または販売店にお問い合わせください。

このセクションでは、数分で完了するファームウェアのアップグレード手順の概要を説明します。

ファームウェアのアップグレード中は、既存の設定を維持する必要があります。

PTC-285ファームウェアアップデートツールによるファームウェアのアップデート

必要条件

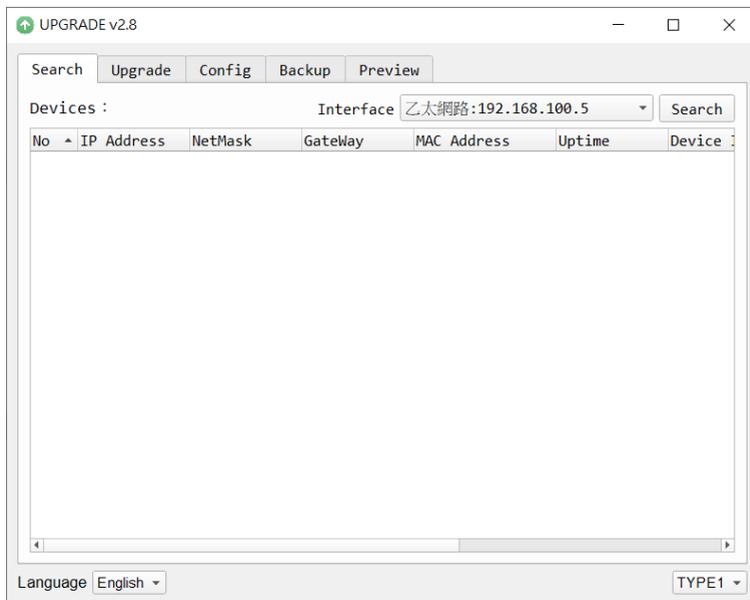
- PTC-285ユニット
- パソコン
- 最新ファームウェア
- ダウンロード先：<https://www.datavideo.com/product/PTC-285>
- イーサネットケーブル

手順

1. まず、パソコンの IP アドレスが PTC-285 カメラと同じ LAN 内に設定されていることを確認してください。パソコンのRJ-45イーサネットポートとPTC-285の背面パネルにあるDVIPポートをイーサネットケーブルで接続してください。
2. PTC-285ファームウェア[VXxxD_Ax.D_Vx.x.xxx_xx.xM_yyymmdd]とファームウェア更新ツール[upgrade vx.x]を Datavideo公式サイトよりダウンロードしてください。
3. ダウンロードしたファームウェアとファームウェアアップデートツールをパソコンのハードディスクに解凍してください。
4. ファームウェアアップデートツール upgrade.exe をダブルクリックしてください。

 upgrade

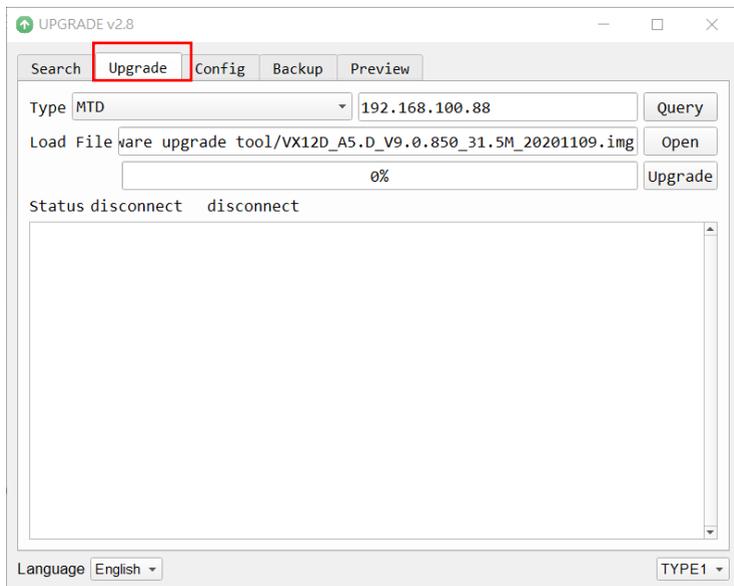
5. ファームウェアアップデートツールのインターフェイスは、以下の図のようになっています。



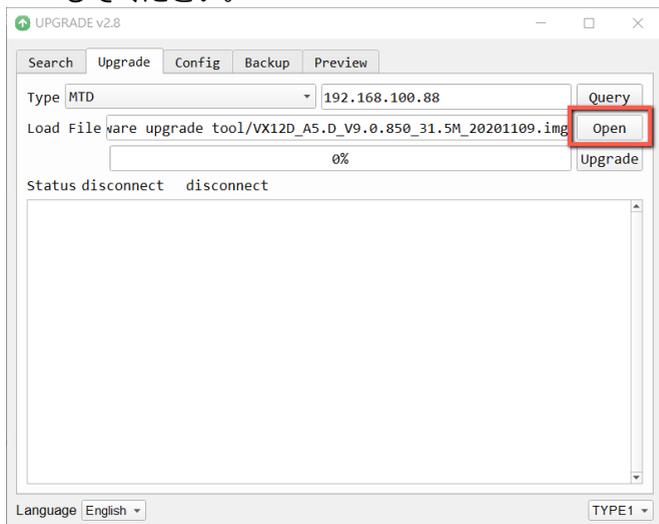
6. [Interface]のプルダウンメニューから、パソコンで設定したLANのIPアドレスを選択してください。



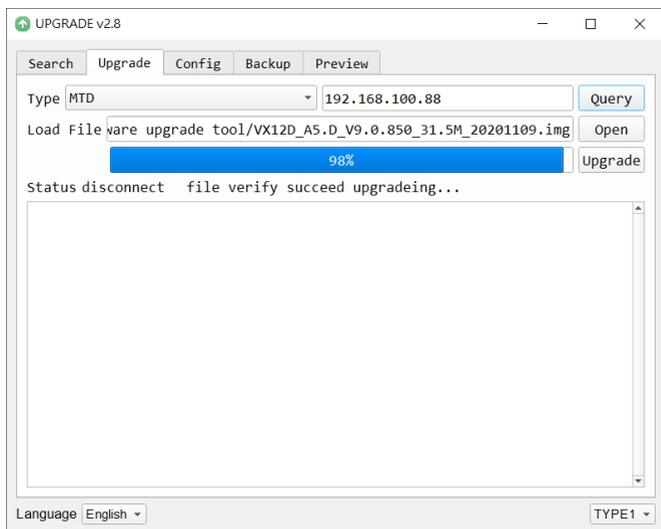
7. [Upgrade]オプションを選択すると、次の図のようなインターフェイスが表示されます。



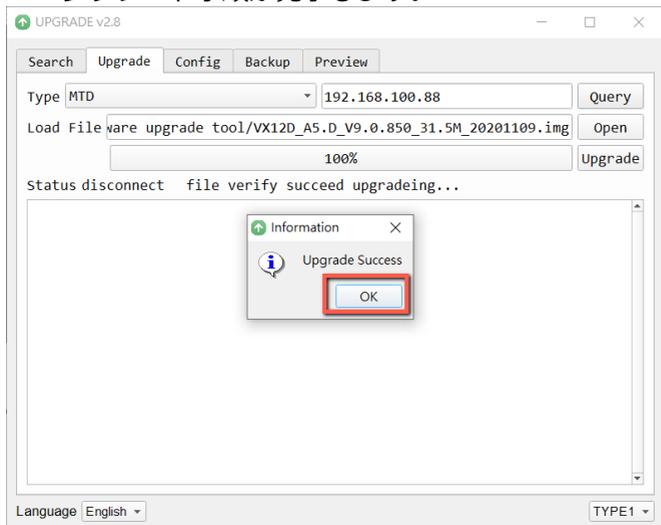
8. [Open]ボタンをクリックし、ダウンロードした最新ファームウェアを選択してください。



9. [Upgrade]ボタンをクリックすると、ファームウェアのアップグレードが開始されます。この時、外部接続モニターに[Upgrading! Please Wait!] (更新中！お待ちください！) と表示されます。



10. ファームウェアのアップグレードが終了すると、PTC-285 カメラが自動的に再起動しますので、[OK]ボタンをクリックして、ファームウェアのアップグレード手順が完了します。



USBフラッシュドライブによるファームウェアのアップデート

必要条件

- PTC-285ユニット
- USB 2.0 または USB3.x USB フラッシュドライブ x 1
- パソコン
- 最新ファームウェアファイル
- ダウンロード先： <https://www.datavideo.com/product/PTC-285>
- イーサネットケーブル

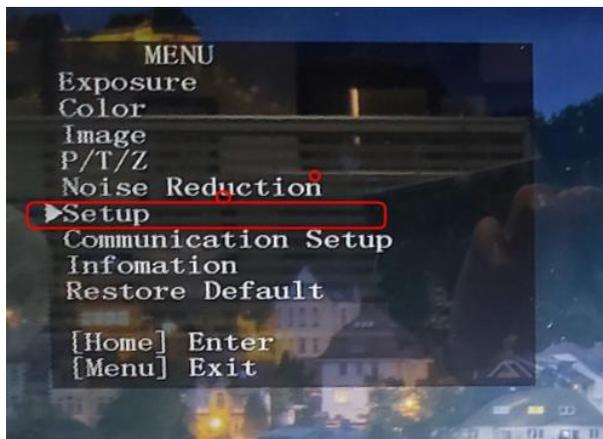
手順

1. まず、USBメモリーをFAT32形式でフォーマットしてください。
2. Datavideo公式サイトでのPTC-285製品ページ
<https://www.datavideo.com/product/PTC-285> から最新のPTC-285ファームウェアファイルをダウンロードし、パソコンのハードディスクに保存してください。
3. ダウンロードしたファームウェアファイルを解凍し、最新ファームウェアファイル[VX12D_A5.D_Vx.x.xxx_31.5M_yyyyymmdd.img]をUSBフラッシュドライブのルートディレクトリに保存してください。

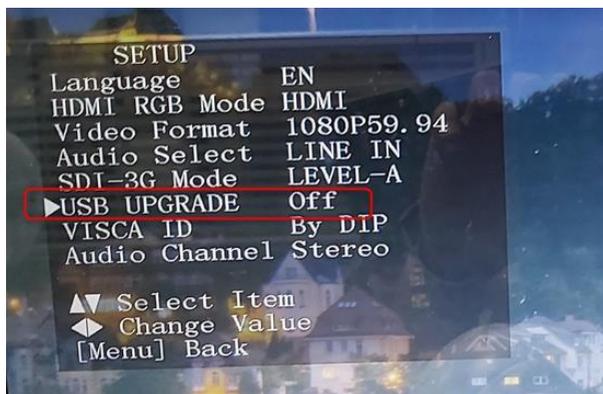
 VX12D_A5.D_V9.0.897_31.5M_20210312.img

4. PTC-285のリアパネルにある[F/W UPGRADE ONLY]USBインターフェースに、最新のファームウェアファイルが入ったUSBフラッシュメモリーを挿入してください。
5. PTC-285のリモコンから[MENU]ボタン  を押し、OSDメニューを開いてください。
6. PTC-285リモコンの[Micro Joystick]  をOSDメニューの[Setup]オプションまで下降させてください。

7. [Setup]オプションを選択した後、PTC-285リモートコントローラから[Micro Joystick]を押して[Setup]ページに入るようにしてください。

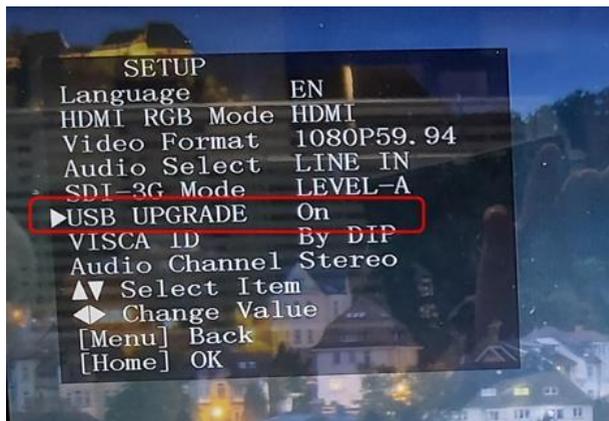


8. PTC-285リモートコントローラの[Micro Joystick]を、[Setup]ページの[USB Upgrade]オプションまで下降させてください。



9. PTC-285リモコンの[Micro Joystick]を左側または右側に動かして、[USB Upgrade]オプションを[On]に設定してください。確認のため、PTC-285リモコンの[Micro Joystick]を押してください。PTC-285は自動的にファームウェアのアップデート手順を開始します。ファームウェアのアップデート手順の過程で、[Updating! Please Wait!]と表示されます。ファームウェアの更新手順が終了すると、PTC-285は自動的に再起動し、ファームウェアの更新は正常に行われます。

注意：ファームウェアのアップデート作業中は、クラッシュを防ぐため、パソコンの電源を切らないでください。モニターに表示される映像がない時間があります。この時、PTC-285 カメラの電源は切らないでください。ファームウェアの更新作業が全て終了すると、カメラは自動的に再起動します。



よくあるご質問

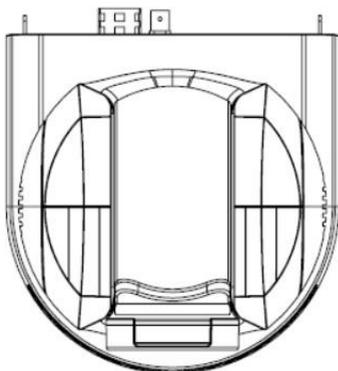
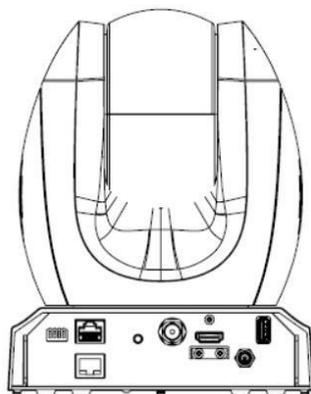
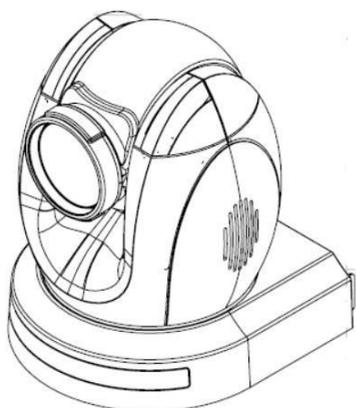
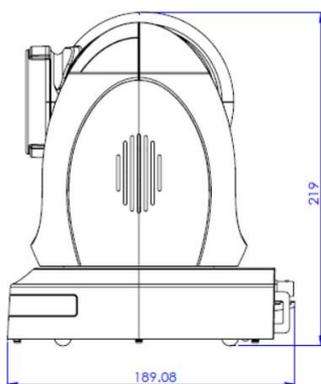
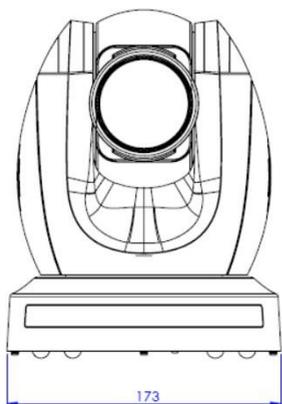
この章では、PTC-285を使用する際に遭遇する可能性のある問題について説明します。ご不明な点がございましたら、関連する項目をご参照の上、解決策をご検討ください。それでも解決しない場合は、販売店へお問い合わせください。

No.	問題点	解決方法
1	製品メンテナンスのポイントは。	<ol style="list-style-type: none">1. カメラを長期間使用しない場合は、DC12V 電源プラグを抜き、AC 電源アダプタを AC コンセントから取り外してください。2. カメラのお手入れには、柔らかい布やティッシュをご使用ください。3. 3. カメラのレンズを洗浄した後、乾いた柔らかい布で拭いてください。レンズの洗浄には、酸性または腐食性の洗剤ではなく、中性洗剤を使用してください。
2	映像が出力されない。	<ol style="list-style-type: none">1. 電源が正しく接続されていることを確認します。これは、電源 LED で示されます。2. カメラを再起動した後、セルフテストが正常に行えるかどうか確認してください。3. 3. カメラが外部接続モニターに正しく接続されていることを確認してください。
3	拡大・縮小時に画像が乱れることがある	<ol style="list-style-type: none">1. カメラが正しく取り付けられていることを確認します。2. 振動の原因となる機械がカメラの近くにないことを確認してください。
4	IE ブラウザを使用した場合、画像が表示されない。	VLC のウェブサイト (http://www.videolan.org/vlc) にアクセスし、32 ビット版 VLC メディアプレーヤーをダウンロードしてください。インストール後、カメラに接続すると正常に画面が表示されます。

<p>5</p>	<p>IE ブラウザを使用するとカメラにアクセスできない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. PC を使用してインターネットにアクセスし、正常に動作するかどうかを確認します。まず、PC とカメラが互いに ping を実行できるようになるまで、コンピュータ ウィルスによるネットワーク障害を解決してください。 2. イーサネット ケーブルを取り外し、PC をカメラに直接接続してください。その後、PC の IP アドレスを再設定してください。
<p>6</p>	<p>IE ブラウザを使用した場合、画像が表示されない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. カメラを CAM1 にセットして、もう一度 もう一度試してください。 2. リモコンの電池が満充電であることを確認します。 3. デバイスの作業モードを確認します。 4. OSD メニューが閉じていることを確認してください。OSD メニューが開いていると、リモコンは使用できません。
<p>7</p>	<p>シリアルポートが正常に動作していない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボーレートとデバイスアドレスが正しいか確認してください。 2. デバイスの動作モードを確認します。 3. OSD メニューが閉じていることを確認してください。OSD メニューが開いていると、リモコンは使用できません。
<p>8</p>	<p>Web コントロールインターフェイスにログインできない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. イーサネットケーブルを確認してください。 2. IP アドレスなど、イーサネットの設定を確認してください。

外形寸法图

单位：mm



仕様

カメラパラメータ	
製品名	4K トラッキング PTZ カメラ
ビデオフォーマット	2160p60/59.94/50/30/29.97/25 1080p60/59.94/50/30/29.97/25 1080i60/59.94/50 720p60/59.94/50 *2160p60/59.94/50 YUV 4:2:2
画像センサー	1/2.8 インチ CMOS
有効画素数 (約)	8.51 メガピクセル
S/N 比	≥55dB
最小照度	0.5 ルクス@ (F1.8, AGC ON)
電子シャッター	1/30s ~ 1/10000s
ズーム比	光学 12 倍ズーム、デジタル 16 倍ズーム
ガンマ	オフ/ノーマル
アイリスコントロール	オート/マニュアル
デジタルノイズリダクション	3D
オンスクリーンディスプレイ(OSD)	英語/ 簡体字中国語/ 繁体字中国語
ホワイトバランス	オート、屋内、屋外、ワンプッシュ、マニュアル、VAR
AGC/ ゲインコントロール	Yes
ミラー/ フリップイメージ	Yes
フォーカスモード	オート/マニュアル
パン/ チルト範囲	パン : 300°、チルト : +130° to -15°
パン/ チルトスピード	パン : 0.876°/s~43°/s、チルト : 0.693°/s ~21.32°/s
プリセット	255 ポジション
焦点距離	12x, f = 4.4mm ~ 52.8mm, F1.8 ~ F2.6
視野角 (水平、広角)	80°
画像補正	バックライト補正

入出インターフェイス	
ビデオ出力	HDMI 2.0 x1 3G-SDI x1 10/100/1000M RJ45 (PoE) x1
音声入力	3.5 mm x 1 (マイク入力/ ライン入力) Web UI からの切り替え
タリ-LED	Yes
レンズフィルター	N/A
コントロールプロトコル	Pelco-D, Pelco-P, VISCA, VISCA over IP, DVIP
リモートコントロールインターフェース	IR Web UI RS-422 DVIP
映像圧縮方式	H.264/H.265/MJPEG
音声圧縮方式	AAC
オーディオビットレート	96Kbps, 128Kbps
ストリーミングプロトコル	TCP/IP, HTTP, RTSP, RTMP(S), ONVIF, DHCP, Multicast
ファーストストリーム対応解像度	3840x2160, 1920x1080, 1280x720, 1024x576 960x540, 640x480, 640x360
セカンドストリーム対応解像度	720x480, 640x360, 480x270, 320x240
ビデオビットレート	32Kbps ~ 50Mbps (Single Stream)
ビデオビットレートモード	VBR, CBR
エンコーディング フレームレート	50Hz: 1-50fps 60Hz: 1-60fps
PoE	IEEE 802.3AT.
F/W アップデート	Web UI または USB 2.0 経由
IR コントロール	Yes

カメラコントロールユニット	RMC-180 シリーズ/RMC-300 シリーズ /PTZ View Assist APP
三脚座	1/4-20 UNC
別売アクセサリ	WM-1/ WM-10/ WM-11
カラー	ダークブルー/ ホワイト
外形寸法 (LxWxH) mm/ 重量	173 (W) x 219 (H) x 189.08 (D) / 2.6 kg
動作温度範囲	0~40 °C
電源	DC 12V 21W

サポート窓口

datavideo JAPAN

株式会社 M&Inext datavideo 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL: 045-415-0203 FAX: 045-415-0255

MAIL: service@datavideo.jp URL: <http://www.datavideo.jp/>

datavideo は Datavideo Technologies Co., Ltd の登録商標です。

本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等を行うことは著作権法上禁止されております。
日本語訳・制作・著作 株式会社 M&Inext

2023 年 3 月 1 日改訂